

3101-1	スクールアシスタント配置事業	
所管課	教育委員会事務局 教職員課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
スクールアシスタントによる児童生徒への学習及び生活支援	全校への100%配置	全校への100%配置
平成26年度取組内容		
<p>学校教育のさらなる充実を図るため、少人数指導等支援員や学級等支援員、小・中一貫英会話講師など様々な補助要員を統合したスクールアシスタントを各学校に配置し、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた学習支援等を行いました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の目標である、スクールアシスタントの全校への100%配置について、週25時間勤務と週15時間勤務のスクールアシスタント及び英会話指導補助ができるスクールアシスタントを全校に配置し、学習及び生活支援を行うことができたことから、B評価としました。	460,227,000 円
		455,898,545 円

3101-2	スクールアシスタント配置事業	
所管課	教育委員会事務局 指導1課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
—	—	—
平成26年度取組内容		
<p>「英会話」補助に係るスクールアシスタントについては、「英会話」の概要や指導方法について理解を深める研修会を実施するなど、指導力の向上を図りました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
—	—	0 円
		0 円

3101-3	スクールアシスタント配置事業	
所管課	教育委員会事務局 指導2課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
—	—	—
平成26年度取組内容		
<p>学校教育のさらなる充実を図るため、少人数指導等支援員や学級等支援員、小・中一貫英会話講師など様々な補助要員をスクールアシスタントとして各学校に配置し、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた学習支援等を行いました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
—	—	0円
		0円

3102-1	「さいたま市小・中一貫教育」の推進(カリキュラム実施)	
所管課	教育委員会事務局 指導1課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
カリキュラムの実施	全市立小・中160校	全市立小・中160校
平成26年度取組内容		
<p>・平成26年度から、全ての市立小・中学校において、確かな学力の向上やいわゆる「中1ギャップ」の緩和のために、義務教育9年間を連続した期間ととらえ、一貫性のある学習指導や生徒指導の推進を目指す「さいたま市小・中一貫教育」を実施しました。  ・全ての学校で次の内容[1. 9年間を見通したカリキュラムの作成と実施 2. 小・中学校相互の授業参観 3. 小・中学校の教職員の合同研修会 4. つぼみの日の充実 5. 小・中一貫コーディネーターの位置付け 6. 関係小・中学校経営方針の共通理解 7. 小・中学校での情報の共有と適切な活用 8. 「人間関係プログラム」の充実]について取り組みました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の目標である、全市立小・中160校における「小・中一貫教育」カリキュラムの実施について、全市立小・中160校において、カリキュラムに基づいた学習指導を行うことにより、指導内容についての系統性を意識しながら指導を進めることができたことから、B評価としました。	2,857,000円
		2,350,080円

3102-2	「さいたま市小・中一貫教育」の推進(合同研修会実施)	
所管課	教育委員会事務局 指導1課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
中学校区を中心とした小・中学校合同研修会実施校数	全市立小・中160校	全市立小・中160校
平成26年度取組内容		
中学校区を中心とした小・中学校合同研修会を、全市立小・中学校で行いました。		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の目標である、全ての市立小・中学校において、教科別研修や生徒指導研修、特別支援教育研修など中学校区の実態に応じたテーマに基づき、小・中合同研修会を行うことにより、小・中学校の教職員が相互理解を深めることができたことから、B評価としました。	事業コード3102-1に計上

3102-3	「さいたま市小・中一貫教育」の推進	
所管課	教育委員会事務局 指導2課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
生徒指導に係る手引きの活用	全市立小・中160校(100%)で活用	全市立小・中160校(100%)で活用
平成26年度取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「児童生徒の心のサポート 手引き 欠席児童生徒への対応」を全市立小・中学校で活用しました。</li> <li>・「さいたま市小・中一貫教育 生徒指導連携シート」の活用を図りました。</li> </ul>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の目標である、全市立小・中160校での生徒指導に係る手引きの活用について、目標どおり活用することができたことから、B評価としました。	419,000 円 ----- 307,380 円

3103-1	基礎学力・国語力・理数教育の充実(研究指定校)	
所管課	教育委員会事務局 指導1課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
研究指定校 ・基礎学力向上 ・国語力向上 ・理数教育	・基礎学力向上4校 ・国語力向上2校 ・理数教育2校	・基礎学力向上4校 ・国語力向上2校 ・理数教育2校
平成26年度取組内容		
<p>・基礎学力向上4校、国語力向上2校、理数教育2校を新たに研究指定校とし、研究発表会等を行いました。          ・基礎的・基本的事項の確実な定着を図ること、各教科等での言語活動の充実により言葉の力を高めること、          理数に係る知的好奇心や探究心をもって、主体的に問題解決に取り組むこと等を目標に、各学校での研究の成果を市内に広めました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の目標である、基礎学力向上4校、国語力向上2校、理数教育2校の研究指定について、目標どおり新たに研究指定し、基礎学力の確実な定着、言語活動の充実、理数に係る問題解決能力の向上等、各学校での研究の成果を市内に広めることができたことから、B評価としました。	5,569,000 円
		5,392,137 円

3103-2	基礎学力・国語力・理数教育の充実(観察アシスタント派遣)	
所管課	教育委員会事務局 指導1課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
観察実験アシスタント派遣校数	全市立小学校に派遣	全市立小学校に派遣
平成26年度取組内容		
<p>観察実験アシスタントについては、全ての市立小学校103校へ派遣しました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の目標である、全市立小学校103校への観察実験アシスタント派遣について、目標どおり観察実験アシスタントを派遣し、理科授業の充実と安全の確保を図ることができたことから、B評価としました。	15,451,000 円
		15,237,200 円

3103-3	基礎学力・国語力・理数教育の充実(中核的理科教員拠点校)	
所管課	教育委員会事務局 指導1課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
中核的理科教員拠点校数	14校	14校
平成26年度取組内容		
<p>・平成26年度に中核的理科教員拠点数を6校(小学校3校、中学校3校)指定し、累計14校にしました。          ・各地域での理科教育推進の拠点校として、中核的理科教員等が公開授業を行い、授業力向上を図りました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標である中核的理科教員拠点校数14校について、新たに6校設置し、累計14校となったことから、B評価としました。	事業コード3103-1に計上

3104-1	子どものための体力向上サポートプラン(体力アップキャンペーン)	
所管課	教育委員会事務局 指導1課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
体力アップメニューの活用校(小・中学校対象)	96校(60.0%)	98校(61.2%)
平成26年度取組内容		
<p>運動に親しむ習慣を培い、体力の向上を目指し「体力アップキャンペーン」、「新体力アップメニューの活用」を重点事業とした「子どものための体力向上サポートプラン(改訂版)」を推進しました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標である体力アップキャンペーンの活用校96校(60.0%)について、98校(61.2%)で体力アップメニューを活用した授業づくりを実施できたことから、B評価としました。	1,094,000 円 ----- 1,184,896 円

3104-2	子どものための体力向上サポートプラン(なわとびチャレンジ)	
所管課	教育委員会事務局 指導1課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
なわとびチャレンジの参加率(小学校対象)	95校(92.2%)	97校(94.1%)
平成26年度取組内容		
<p>児童の運動習慣の確立を図るために、市内の小中学校で共通する「なわとびチャレンジ」を行い、記録に挑戦しました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標である、なわとびチャレンジの参加95校(92.2%)について、97校(94.1%)がなわとびチャレンジに取り組み、運動に親しむ習慣をはぐくむことができたことから、B評価としました。	事業コード3104-1に計上

3105-1	国際教育・交流事業(中学校生徒派遣)	
所管課	教育委員会事務局 指導1課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
市立中学校生徒派遣数	57名/年度 ※全市立中学校から1名	57名/年度 ※全市立中学校から1名
平成26年度取組内容		
<p>さいたま市内57校の中中学校から、それぞれ代表として3年生の中から1名ずつ選出し、ニュージーランドのハミルトン市へ派遣し、ホームステイや現地の学校へ通う等の体験を通し、英語の力をのばしました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標である、57名(全ての市立中学校から1名)をハミルトン市へ派遣することについて、目標どおり派遣し、派遣生徒の異文化理解を深め、英語を学ぶ意欲を高めることができたことから、B評価としました。	8,988,000 円 ----- 8,740,218 円

3105-2	国際教育・交流事業(日本語指導員派遣)	
所管課	教育委員会事務局 指導1課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
学校からの申請に対する対象児童生徒への日本語指導員派遣割合	100%	100%
平成26年度取組内容		
日本語指導が必要な児童生徒が在籍する市立小・中学校の校長からの申請に基づき、日本語指導員として登録している方を各学校へ派遣しました。		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標である、日本語指導員派遣割合100%について、各学校からの申請に対して100%派遣することができたことから、B評価としました。	9,972,000 円 ----- 11,545,926 円

3106-1	特別支援教育推進事業(特別支援学級設置)	
所管課	教育委員会事務局 指導2課	倍增プラン18
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
特別支援学級設置数(特別支援学級設置率)	平成27年4月設置予定校数85校(53%)	平成27年4月設置校数95校(59.4%)
平成26年度取組内容		
障害のある児童生徒が、住み慣れた地域で学べるようにするために、特別支援学級を20校に新設するための準備を行うなど、第2次さいたま市特別支援教育推進計画に基づき、特別支援教育を推進しました。		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
A	平成26年度の目標である、特別支援学級設置予定校数85校(53%)について、目標を上回る95校(59.4%)に設置することができたことから、A評価としました。	86,415,000 円 ----- 86,152,987 円

3106-2	特別支援教育推進事業(特別支援教育コーディネーター)	
所管課	教育委員会事務局 指導2課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
特別支援教育コーディネーター実践研修受講者	3人/年度	5人
平成26年度取組内容		
<p>障害のある児童生徒が、住み慣れた地域で学べるようにするために、特別支援教育コーディネーターの専門性を高める研修として、特別支援教育コーディネーター実践研修を実施しました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
A	平成26年度の目標である、特別支援教育コーディネーター実践研修受講者3人について、目標を上回る5人が受講することができたことから、A評価としました。	事業コード3106-1に計上

3106-3	特別支援教育推進事業(児童生徒の交流及び共同学習)	
所管課	教育委員会事務局 指導2課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
小・中学校と特別支援学校の児童生徒の交流及び共同学習	希望者全員	希望者全員(144名)
平成26年度取組内容		
<p>小・中学校と特別支援学校の児童生徒の交流及び共同学習を推進しました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標である、希望者全員の交流及び共同学習について、希望者全員(144名)が交流及び共同学習を実施できたことから、B評価としました。	事業コード3106-1に計上



3107-1	心のサポート推進事業(ゲートキーパー養成)	
所管課	教育委員会事務局 指導2課	倍增プラン23
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
自殺予防のゲートキーパーの養成	中学校教員960人/年度	中学校教員903人
平成26年度取組内容		
<p>児童生徒の自殺予防を図るために、必要な基礎的知識やスキルを身に付ける研修として、ゲートキーパー養成研修を実施しました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標である、中学校960人のゲートキーパー養成について、903人が受講したことから、B評価としました。	426,616,000 円 ----- 411,521,287 円

3107-2	心のサポート推進事業(子どもサポートネットワーク)	
所管課	教育委員会事務局 指導2課	倍增プラン23
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
子どもサポートネットワークによる支援	子どもサポートチーム連絡会議の開催	子どもサポートチーム連絡会議の開催(年3回)
平成26年度取組内容		
<p>5月、10月、2月に、子どもサポートチーム連絡会議を開催し、関係機関と連携した学校支援の在り方について検討しました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標である、子どもサポートチーム連絡会議の開催について、目標どおり年3回開催することができたことから、B評価としました。	事業コード3107-1に計上

3107-3	心のサポート推進事業(スクールカウンセラー)	
所管課	教育委員会事務局 指導2課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
スクールカウンセラーの人数	86人(29人増)	86人(29人増)
平成26年度取組内容		
スクールカウンセラーの配置を拡充し、さわやか相談員等と連携した教育相談を行いました。		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標である、スクールカウンセラー86人(29人増)について、目標どおり配置を拡充し、事業を進めることができたことから、B評価としました。	事業コード3107-1に計上

3108-1	市立高等学校「特色ある学校づくり」事業(中高一貫教育に係る計画)	
所管課	教育委員会事務局 高校教育課	倍增プラン21-1
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
中高一貫教育に係る計画策定・実施	平成26年度末までに基本計画を策定します。	さいたま市立中等教育学校(仮称)に係る基本計画を策定
平成26年度取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・さいたま市立中等教育学校(仮称)に係る基本計画を策定し、公表しました。</li> <li>・さいたま市国際バカロレア協議会を3回開催するとともに、先進校である都立国際高校、東京学芸大学附属国際中等教育学校を視察するなど、認定に向けた取組を行いました。</li> </ul>		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標である、平成26年度末までに中高一貫教育に係る基本計画を策定することについて、目標どおり基本計画を策定することができたことから、B評価としました。	8,999,000 円 ----- 8,067,000 円

3108-2	市立高等学校「特色ある学校づくり」事業(授業の理解度)	
所管課	教育委員会事務局 高校教育課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
授業の理解度	55.0%	53.3%
平成26年度取組内容		
「教えて考えさせる授業」研究指定事業及び進学指導重点プロジェクトを実施しました。		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標である授業の理解度55.0%について、アンケート調査の結果、53.3%になったことから、B評価としました。	50,000 円
		50,000 円

3109	大学連携コラボレーション事業	
所管課	教育委員会事務局 指導1課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
希望校へのアシスタント ティーチャー配置率	100%	100%
平成26年度取組内容		
児童生徒へきめ細かな学習支援を実施するため、大学生による学習支援ボランティア(アシスタントティーチャー)を募集し、希望する小・中・特別支援学校に配置しました。また、大学での説明会や市報を活用した広報活動を行い、大学生の募集も進めました。		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標である希望校へのアシスタントティーチャー配置率100%について、目標どおり、配置を希望した全ての小・中・特別支援学校124校に、学生を配置することができたことから、B評価としました。	558,000 円
		461,427 円

3110-1	教育の情報化推進事業(教員ICT活用指導)	
所管課	教育委員会事務局 教育研究所	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
教員のICT活用指導力	95%	79.4%(平成26年3月現在)
平成26年度取組内容		
<p>・「情報教育・情報モラル研修会」の中でICTを活用した学習について具体的に指導を行いました。</p> <p>・計画訪問等において、ICT機器の効果的な活用方法について指導を行いました。</p> <p>・参加対象者を限定した推薦研修や指定研修、教職員等が自主的に参加する希望研修やパワーアップ講座を実施し、延べ551人が参加しました。</p> <p>・ICTを活用した学習指導を市立小・中・特別支援学校に広げるため、校長が推薦する教員を対象に「ICT教育指導者養成講座」を実施しました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
C	平成26年度の目標である、教員のICT活用指導力95%について、79.4%となり、目標を達成することができなかったことから、C評価としました。	694,481,000 円 ----- 693,762,734 円

3110-2	教育の情報化推進事業(携帯・インターネット安全教室)	
所管課	教育委員会事務局 教育研究所	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
携帯・インターネット安全教室実施校数	全市立小・中・高等・特別支援学校で継続実施	全ての市立小・中・高等・特別支援学校で継続実施
平成26年度取組内容		
<p>児童生徒が情報モラルを身に付けたり、情報を適切に扱ったりすることができる能力を育成するため、全ての市立小・中・高等・特別支援学校で「携帯・インターネット安全教室」を実施するなどメディアリテラシー教育を推進しました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の目標である、「携帯・インターネット安全教室」を全ての市立小・中・高等・特別支援学校で継続実施することについて、目標どおり事業を進めることができたことから、B評価としました。	事業コード3110-1に計上

3110-3	教育の情報化推進事業(情報モラル研修)	
所管課	教育委員会事務局 教育研究所	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
情報モラルなどを指導する能力	95%	84.0%(平成26年3月現在)
平成26年度取組内容		
<p>・初任者研修などの年次研修、市立小・中・特別支援学校の管理職を対象とする「情報システム管理者研修会」や、情報教育担当者を対象とする「情報教育・情報モラル研修会」等の研修を実施し、延べ689人が参加しました。</p> <p>・「ICT教育指導者養成講座」等の中で、情報モラル教育の指導について研修を行いました。</p> <p>・教育研究所Webページや校務用コンピュータ上に、各学校での情報モラル教育の実践例や指導の留意点、ICT活用研究委員会が作成した「情報モラル教育指導資料」等を掲載し、情報共有を図りました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
C	平成26年度の目標である、情報モラルなどを指導する能力95%について、84.0%となり、目標を達成することができなかったことから、C評価としました。	事業コード3110-1に計上

3111-1	地域に開かれた学校運営事業	
所管課	教育委員会事務局 生涯学習振興課	倍增プラン25-2
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
学校支援ボランティア数	23,100人	28,995人
平成26年度取組内容		
<p>・SSNの中心的な役割を担う学校地域連携コーディネーターに対する研修会等の実施による情報の共有及び活用の促進をしました。</p> <p>・各学校のSSN協議会において、地域ぐるみで子どもを育てる活動を協議し、また実情に応じた取組を実施しました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
A	平成26年度の数値目標である学校支援ボランティア数23,100人に対し、28,995人の方に御協力いただくことができたことから、A評価としました。	100,581,000 円 ----- 99,782,579 円

3111-2	地域に開かれた学校運営事業	
所管課	教育委員会事務局 教職員課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
学校支援チームによる相談活動	相談活動の充実、必要に応じた訪問指導・助言の実施	小学校8件、中学校18件、高等学校5件、計31件の事案で、延べ48回の相談に対し訪問指導・助言を実施。
平成26年度取組内容		
<p>・学校と保護者・地域住民等の中で発生する多種多様な問題に対処するため、弁護士、精神科医、臨床心理士等による学校支援チームによる相談活動の充実を図るとともに、必要に応じて、学校を訪問して直接指導・助言を行いました。</p> <p>・平成26年度は小学校8件、中学校18件、高等学校5件、計31件の事案で延べ48回の相談に対応しました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の目標である相談活動の充実、必要に応じた訪問指導・助言の実施について、目標どおり実施することができたことから、B評価としました。	600,000 円 ----- 580,000 円

3112	「すくすく のびのび 子どもの生活習慣向上」キャンペーン	
所管課	教育委員会事務局 生涯学習振興課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
朝食を食べている割合	小6:90.0% 中3:87.0%	小6:89.7% 中3:86.3%
平成26年度取組内容		
<p>・「早寝・早起き・朝ごはん」「ノーテレビ、ノーゲームデー」「友達や物を大切にすること」「携帯電話やパソコン等の使い方について家族で考えること」の4つを重点として、キャンペーンを実施しました。</p> <p>・啓発ポスター及び資料を作成し、関係団体等に配付することにより、協力体制を構築し、連携して各家庭に働き掛けました。</p> <p>・さいたま市PTA協議会と教育委員会が連携して作成した啓発資料を活用し、スマートフォン等の正しい利用について、家庭での話し合い、ルールづくりを呼び掛けました。</p> <p>・平成26年度全国学力・学習状況調査等の結果を分析し、関係団体等へ情報提供し共有化を図りました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の目標である、朝食を食べている割合(小6:90.0%、中3:87.0%)について、目標をおおむね達成できたことから、B評価としました。	77,000 円 ----- 67,716 円

3113-1	子ども読書活動推進事業(小学生)	
所管課	教育委員会事務局 中央図書館資料サービス課	倍增プラン39-2
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
小学生不読者の割合	3%以下	4.7%
平成26年度取組内容		
<p>・「子どもといっしょに読書タイム」のキャンペーン事業として、親子・家族で参加する「おうちで楽しく読み聞かせ～応援ガイドンス～」や読書ラリーなどの催し物を実施し、家庭での読書の大切さを提唱しました。「おうちで楽しく読み聞かせ～応援ガイドンス～」は、延べ357人の親子が参加し、読書ラリーは達成記念シールを1,619枚配布しました。</p> <p>・図書館おすすめ児童書を紹介する冊子「本は王さま2014」と「定番児童書リスト Vol.4」を発行、配布しました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
C	平成26年度の目標である、小学生不読者の割合3%以下について、4.7%となり、目標を達成することができなかったことから、C評価としました。	948,000 円 ----- 805,376 円

3113-2	子ども読書活動推進事業(中学生)	
所管課	教育委員会事務局 中央図書館資料サービス課	倍增プラン39-2
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
中学生不読者の割合	6%以下	4.8%
平成26年度取組内容		
<p>・中学校に向けた学級文庫用図書の貸出を行いました(12校)。</p> <p>・図書館おすすめ児童書を紹介する冊子「本は王さま2014」を発行、配布しました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
A	平成26年度の目標である、中学生不読者の割合6%以下について、4.8%となり、目標を大きく上回ったことから、A評価としました。	119,000 円 ----- 77,760 円

3114	チャレンジスクール推進事業	
所管課	教育委員会事務局 生涯学習振興課	倍增プラン25-1
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
チャレンジスクール延べ参加者	チャレンジスクール延べ参加者数175,000人	チャレンジスクール延べ参加者数172,887人
平成26年度取組内容		
<p>・ボランティアスタッフ研修会のさらなる充実を図るため、外部講師を招聘し、レクリエーションや工作の実習を行う等、研修会を3回実施するとともに、研修内容へのニーズを把握するためにアンケートを実施しました。</p> <p>・新たに、実践事例に基づく事例発表会を開催しました。</p> <p>・チャレンジスクールにおける活動事例集を作成・配付し、情報の共有化を図りました。</p> <p>・チャレンジスクールの代表者によるさいたまチャレンジスクール運営会議を4回行い、うち2回をブロック毎に分け協議を行うことで、他のチャレンジスクールと活発な意見交換ができました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の数値目標であるチャレンジスクール参加者数延べ175,000人に対し、延べ172,887人の参加があったことから、B評価としました。	143,633,000 円 ----- 130,036,054 円

3115-1	学校における食育の推進事業(食育研究指定校)	
所管課	教育委員会事務局 健康教育課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
食育研究指定校	2校	2校
平成26年度取組内容		
<p>学校における食育についての研究を市立学校2校に委嘱し、指定校の教育力の向上を図りました。また、その成果を全ての市立学校で共有し、本市の学校における食育の充実を図りました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の目標である、食育研究指定校2校について、目標どおり事業を進めることができたことから、B評価としました。	80,000 円 ----- 80,000 円



3115-2	学校における食育の推進事業(地元シェフ学校給食)	
所管課	教育委員会事務局 健康教育課	倍增プラン22-2
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
地元シェフによる学校給食の実施	20校実施	20校実施
平成26年度取組内容		
<p>地元シェフ8名と連携を図り、地場産物を活用したシェフのメニュー提案による学校給食を市立小・中学校20校で実施しました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標である、地元シェフによる学校給食の20校での実施について、目標どおり20校で実施することができたことから、B評価としました。	100,000 円 ----- 100,000 円

3115-3	学校における食育の推進事業(学校教育ファーム)	
所管課	教育委員会事務局 健康教育課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
学校教育ファーム(ふれあい夢ファームの実施)	6校	6校
平成26年度取組内容		
<p>・農家やNPO法人と連携して農業体験を行う「ふれあい・夢ファーム」を学校教育ファームの一部に位置付け、実施しました。 ・小学校4校、中学校2校が参加し、子どもたちは、植え付けや草取り、収穫を体験するとともに生き物観察も行い、自然や食物を大切にすることの重要性を学びました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標である、学校教育ファーム(ふれあい夢ファーム)の6校での実施について、目標どおり6校で実施することができたことから、B評価としました。	1,400,000 円 ----- 1,400,000 円

3116-1	学校安全推進事業	
所管課	教育委員会事務局 学事課	倍增プラン44-2
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
通学路の安全点検(市立全小・中学校対象)	全市立小・中160校	全市立小・中学校160校において通学路の安全点検を実施しました。
平成26年度取組内容		
<p>学校及び教育委員会が通学路の安全点検を行い、対策が必要な箇所について、担当課等で交通安全対策を実施しました。このうち、改善の必要性の高い箇所については、担当課、関係機関等による合同点検を実施しました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の目標である、全ての市立小・中学校における通学路の安全点検の実施について、目標どおり実施することができたことから、B評価としました。	0円 ----- 0円

3116-2	学校安全推進事業(避難訓練)	
所管課	教育委員会事務局 健康教育課	倍增プラン41-4
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
緊急地震速報を活用した避難訓練実施率(全市立中学校)	100%	100%
平成26年度取組内容		
<p>防災教育カリキュラム「学校における防災教育」に基づき、児童生徒の「自助」「共助」の態度を育てるため、緊急地震速報を利用した避難訓練を実施しました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の目標である、緊急地震速報を活用した避難訓練実施率100%について、目標どおり実施することができたことから、B評価としました。	172,000円 ----- 171,936円

3116-3	学校安全推進事業(学校安全ネットワーク)	
所管課	教育委員会事務局 健康教育課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
「子ども安全協定」締結事業者数	60事業者	62事業者
平成26年度取組内容		
<p>市内において配達・運送等にかかわる事業者が、業務中に不審者等を目撃した時に、警察及び教育委員会に連絡をいただく「子ども安全協定」の締結事業者数の拡大を図り、多くの人の目で子どもを見守る「学校安全ネットワーク」を拡充しました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の目標である、60事業者との「子ども安全協定」締結について、62事業者と協定を締結することができたことから、B評価としました。	136,221,000 円 ----- 105,279,060 円

3116-4	学校安全推進事業(ASUKAモデル)	
所管課	教育委員会事務局 健康教育課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
—	—	—
平成26年度取組内容		
<p>教職員の訓練等の一層の充実を図るために、ASUKAモデル及び解説書の活用を進めるとともに、新たに、訓練の様子や心肺蘇生等が必要な症状などを映像に盛り込んだ研修用のDVDを作製しました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
—	—	7,739,000 円 ----- 4,806,000 円

3117-1	過大規模校解消事業	
所管課	教育委員会事務局 教育総務課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
過大規模校の解消	「過大規模校」解消のための調査・研究の推進	「過大規模校」解消のための調査・研究の推進
平成26年度取組内容		
<p>小・中学校の学校規模の適正化と教育環境整備の推進を図るために設置した「過大規模校解消プロジェクト会議」を4回開催し、過大規模校解消のための調査・研究を推進しました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の目標である、「過大規模校」解消のための調査・研究の推進について、目標どおり事業を進めることができたことから、B評価としました。	0円 ----- 0円

3117-2	過大規模校解消事業	
所管課	教育委員会事務局 学校施設課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
過大規模校の解消	「過大規模校」解消のための調査・研究の推進	「過大規模校」解消のための調査・研究の推進
平成26年度取組内容		
<p>小・中学校の学校規模の適正化と教育環境整備の推進を図るために設置した「過大規模校解消プロジェクト会議」を4回開催し、過大規模校解消のための調査・研究を推進しました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の目標である、「過大規模校」解消のための調査・研究の推進について、目標どおり事業を進めることができたことから、B評価としました。	0円 ----- 0円

3117-3	過大規模校解消事業	
所管課	教育委員会事務局 学事課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
過大規模校の解消	「過大規模校」解消のための調査・研究の推進	「過大規模校」解消のための調査・研究の推進
平成26年度取組内容		
<p>小・中学校の学校規模の適正化と教育環境整備の推進を図るために設置した「過大規模校解消プロジェクト会議」を4回開催し、過大規模校解消のための調査・研究を推進しました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の目標である、「過大規模校」解消のための調査・研究の推進について、目標どおり事業を進めることができたことから、B評価としました。	0円 ----- 0円

3118-1	学校施設改修等推進事業(学校施設リフレッシュ計画)	
所管課	教育委員会事務局 学校施設課	倍增プラン24
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
学校施設リフレッシュ計画	策定・公表	策定
平成26年度取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校施設リフレッシュ基本計画を策定しました。</li> <li>・学校施設の著しい劣化、不具合等について、適時改修等を行いました。</li> <li>・小学校2校で測量を行いました。</li> <li>・小学校16校、中学校11校で、改修等の設計を行いました。</li> <li>・小学校10校、中学校6校で、改修の工事を行いました。</li> </ul>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の目標である、学校施設リフレッシュ計画の策定・公表について、計画を策定することができたことから、B評価としました。	212,807,000円 ----- 558,507,960円

3118-2	学校施設改修等推進事業(小・中学校トイレ便器洋式化)	
所管課	教育委員会事務局 学校施設課	倍増プラン24
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
小・中学校トイレ便器の洋式化率	40%	40.5%
平成26年度取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校11校、中学校6校で、便器洋式化修繕を行いました。</li> <li>・小学校3校、中学校5校で、トイレ改修の設計を行いました。</li> <li>・中学校3校で、トイレ改修の工事を行いました。</li> </ul>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の目標である、小・中学校トイレ便器の洋式化率40%について、40.5%となり、目標を達成することができたことから、B評価としました。	147,385,000 円 ----- 289,387,960 円

3118-3	学校施設改修等推進事業(給食室改築)	
所管課	教育委員会事務局 学校施設課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
給食室の改築校数	基本設計3校	基本設計3校
平成26年度取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校1校で給食室建設工事を行いました。</li> <li>・小学校3校で、給食室改築に向け、基本設計を行いました。</li> </ul>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の目標である、給食室の改築に向けた基本設計3校について、目標どおり事業を進めることができたことから、B評価としました。	588,082,000 円 ----- 698,490,742 円

3118-4	学校施設改修等推進事業(体育館等非構造部材耐震化)	
所管課	教育委員会事務局 学校施設課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
体育館等非構造部材の耐震化率	50%	36.6%
平成26年度取組内容		
<p>・小学校62校、中学校36校、高等学校2校、特別支援学校1校で、体育館等非構造部材耐震化等の設計を行いました。</p> <p>・小学校35校、中学校17校、高等学校2校で、体育館等非構造部材耐震化等改修の工事を行いました。</p> <p>・中学校35校の武道場の同工事の設計を、補正予算により当初事業計画から前倒して行いました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
C	平成26年度の数値目標である、体育館等非構造部材の耐震化率50%について、一部(18校)の工事が入札不調により実施できず、達成度が約73%にとどまったことから、C評価としました。	72,638,000 円 ----- 1,827,099,720 円

3118-5	学校施設改修等推進事業	
所管課	教育委員会事務局 高校教育課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
—	—	—
平成26年度取組内容		
各高校から施設修繕、改修工事等の要望を聞き予算要求等を調整しました。		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
—	—	0 円 ----- 0 円

3118-6	学校施設改修等推進事業	
所管課	教育委員会事務局 健康教育課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
—	—	—
平成26年度取組内容		
<p>単独校調理場(学校給食室)の整備に伴い、学校給食提供開始に向け必要となる消耗品、備品の購入を行いました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
—	—	13,117,000 円
		13,110,626 円

3119-1	子ども・若者育成支援事業(若者自立支援ルーム)	
所管課	子ども未来局 青少年育成課	倍增プラン6
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
さいたま市若者自立支援 ルーム年間延べ利用者	延べ5,800人	延べ4,265人
平成26年度取組内容		
<p>若者自立支援ルーム利用者増加について、委託事業者と協力し、本事業の広報・周知活動を実施しました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
C	平成26年度の数値目標であるさいたま市若者自立支援 ルームの年間利用者数延べ5,800人に対し、実績延べ利用 者数が4,265人であったことから、C評価としました。	37,733,000 円
		19,332,750 円



3119-2	子ども・若者育成支援事業(第二支援ルーム)	
所管課	子ども未来局 青少年育成課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
第二支援ルーム開設	既存施設の解体設計	既存施設の解体設計
平成26年度取組内容		
<p>第2若者自立支援ルームについて、解体設計に向け、現地調査、アスベスト・PCB調査を実施し、並行して関係所管課との協議を行いました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の目標である、既存施設の解体設計について、目標どおり事業を進めることができたことから、B評価としました。	事業コード3119-1に計上

3119-3	子ども・若者育成支援事業(ユースアドバイザー)	
所管課	子ども未来局 青少年育成課	倍增プラン7
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
ユースアドバイザーの養成人数	20人	29人
平成26年度取組内容		
<p>ユースアドバイザーについて、先行市での実施状況を調査、分析し、養成方法、対象者などを検討し、平成27年3月13日に第1回ユースアドバイザー研修を実施しました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
A	平成26年度の数値目標である、ユースアドバイザーの養成人数20人について、目標を上回る29人となったことから、A評価としました。	事業コード3119-1に計上

3201-1	公民館・図書館施設リフレッシュ事業(リフレッシュ計画)	
所管課	教育委員会事務局 生涯学習総合センター	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
リフレッシュ計画の策定	公民館施設リフレッシュ計画策定業務の推進	公民館施設リフレッシュ計画策定に向け、調査、作成業務を実施
平成26年度取組内容		
公民館施設リフレッシュ計画の策定に向け、調査、計画作成業務を実施しました。		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の目標である、公民館施設リフレッシュ計画策定業務の推進について、目標どおり事業を進めることができたことから、B評価としました。	123,756,000 円 ----- 106,212,816 円

3201-2	公民館・図書館施設リフレッシュ事業(施設改修)	
所管課	教育委員会事務局 生涯学習総合センター	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
施設の改修	屋上防水・外壁改修等の施設改修(設計8館、工事3館)を推進	屋上防水・外壁改修等の施設改修(設計8館、工事3館)を実施
平成26年度取組内容		
屋上防水・外壁改修等の施設改修(設計8館、工事3館)を実施しました。		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の目標である、屋上防水・外壁改修等の施設改修(設計8館、工事3館)について、目標どおり事業を進めることができたことから、B評価としました。	事業コード3201-1に計上

3201-3	公民館・図書館施設リフレッシュ事業(リフレッシュ計画)	
所管課	教育委員会事務局 中央図書館管理課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
リフレッシュ計画の策定	図書館施設リフレッシュ計画策定業務の推進	図書館施設リフレッシュ計画策定に向け、調査、策定業務を実施
平成26年度取組内容		
図書館施設リフレッシュ計画の策定に向け、修繕履歴の調査や関係各課と調整を行い、リフレッシュ計画策定業務を推進しました。		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の目標である、図書館施設リフレッシュ計画の策定について、目標どおり事業を進めることができたことから、B評価としました。	3,000,000 円 ----- 2,970,000 円

3201-4	公民館・図書館施設リフレッシュ事業(施設改修)	
所管課	教育委員会事務局 中央図書館管理課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
施設の改修	屋上防水・外壁改修等の施設改修やバリアフリー化を推進	屋上防水修繕、外壁改修設計やバリアフリー化等、施設の改修を実施
平成26年度取組内容		
<p>・大宮東図書館及び岩槻図書館の屋上防水修繕、大宮西部図書館の外壁改修に向けた設計業務、大宮図書館のトイレ洋式化修繕等を行いました。</p> <p>・大宮西部図書館の駐車場舗装修繕、大宮西部図書館、大宮東図書館及び与野図書館西分館の空調設備修繕、与野図書館の照明設備修繕を行いました。</p> <p>※老朽化した施設・設備について、リフレッシュ事業とは別に安全安心のため施設の改修を行いました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の目標である、屋上防水の修繕、外壁改修設計やバリアフリー化の推進について、目標どおり事業を進めることができたことから、B評価としました。	62,333,000 円 ----- 53,965,224 円

3202-1	図書館整備事業	
所管課	教育委員会事務局 中央図書館資料サービス課	倍增プラン39-1
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
市民一人当たり貸出数	8.7点/年度	7.8点/年度
平成26年度取組内容		
<p>・新たな利用の掘り起こしのため、HPからの情報発信や、ビブリオバトル、読書ラリーなどの新しい催し物を実施し、図書館のPRに努めました。</p> <p>・平成25年度実施の「図書館の利用に関するアンケート」などによって把握した市民ニーズをもとに、計画的・効果的な資料の収集を行い、図書館24館で約13万7千点の資料を新たに受け入れました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標である市民一人当たり貸出数8.7点について、市民一人当たりの貸出数は7.8点となり、目標をおおむね達成することができたことからB評価としました。	216,105,000 円 ----- 215,979,097 円

3202-2	図書館整備事業((仮称)浦和美園図書館整備)	
所管課	教育委員会事務局 中央図書館資料サービス課	倍增プラン39-1
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
(仮称)浦和美園図書館の開館	(仮称)浦和美園図書館の資料の購入	美園図書館の資料の購入
平成26年度取組内容		
<p>美園図書館の開館に向けて、一般書22,750冊、児童書9,723冊、CD924点を購入し、ICタグの貼付を含めた装備やデータの書き込みを実施しました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標である、美園図書館の資料の購入について、目標どおり事業を進めることができたことから、B評価としました。	53,435,000 円 ----- 53,370,252 円

3202-3	図書館整備事業(地域資料デジタル化)	
所管課	教育委員会事務局 中央図書館資料サービス課	倍增プラン39-1
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
地域資料のデジタル化	デジタル化する地域資料の選定	デジタル化する地域資料の選定
平成26年度取組内容		
<p>・デジタル化する地域資料の選定と著作権処理方法の調査・研究を行いました。          ・デジタル化する地域資料の選定に当たっては、総務課アーカイブズセンターのデジタル化計画対象資料との重複を避けるよう調整するなど、平成27年度の資料のデジタル化作業開始に向けた準備を行いました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標である、デジタル化する地域資料の選定について、目標どおり事業を進めることができたことから、B評価としました。	0円 ----- 0円

3202-4	図書館整備事業	
所管課	教育委員会事務局 中央図書館管理課	倍增プラン39-1
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
(仮称)浦和美園図書館の開館	システム端末・ICタグ機器の調達	美園図書館開館準備用図書館システム端末・ICタグ機器及び既存20館の図書館システム端末機器等を調達
平成26年度取組内容		
<p>・美園図書館の開館に向けて、図書・CDの発注・受入作業を行うため、図書館システム端末・ICタグ機器を調達しました。          ・平成27年2月に賃貸借期間の終了する図書館システム端末・機器の更新を行いました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標である、システム端末・ICタグ機器の調達について、目標どおり事業を進めることができたことから、B評価としました。	51,155,000円 ----- 43,536,888円

3203	さいたま市民大学事業	
所管課	教育委員会事務局 生涯学習総合センター	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
教養コースの延べ参加者数	625人／年度	602人／年度
平成26年度取組内容		
<p>・平成26年度の教養コースを全8回実施しました。          ・さいたま市民大学運営委員会を3回開催し、平成27年度の教養コース等の企画について、検討を行い内容を決定しました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の目標である、教養コースの延べ参加者数625人について、602人の参加があり、目標をおおむね達成することができたことから、B評価としました。	2,966,000 円 ----- 2,435,086 円

3204-1	生涯学習人材バンク事業(人材バンク事業構築)	
所管課	教育委員会事務局 生涯学習振興課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
人材バンク事業の構築	事業開始	事業開始
平成26年度取組内容		
<p>・検討作業部会を設置し、整備に係る協議を実施しました。          ・要綱を作成し、市報等で広報を実施して登録者を募集しました。          ・登録者への説明会を実施した後、運用を開始しました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の目標である、人材バンクの事業開始について、目標どおり事業を開始することができたことから、B評価としました。	0 円 ----- 0 円

3204-2	生涯学習人材バンク事業(人材バンク登録者数)	
所管課	教育委員会事務局 生涯学習振興課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
人材バンク登録者数	50人	61人
平成26年度取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討作業部会を設置し、整備に係る協議を実施しました。</li> <li>・要綱を作成し、市報等で広報を実施して登録者を募集しました。</li> <li>・登録者への説明会を実施した後、運用を開始しました。</li> </ul>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
A	平成26年度の数値目標である、人材バンク登録者数50人について、61人が登録し、目標を大きく上回ったことから、A評価としました。	0円
		0円

3204-3	生涯学習人材バンク事業(人材バンクマッチング)	
所管課	教育委員会事務局 生涯学習振興課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
マッチング率(マッチング件数／登録者数)	20%	1.6%
平成26年度取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討作業部会を設置し、整備に係る協議を実施しました。</li> <li>・要綱を作成し、市報等で広報を実施して登録者を募集しました。</li> <li>・登録者への説明会を実施した後、運用を開始しました。</li> </ul>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
C	平成26年度の目標である、人材バンクにおけるマッチング率20%について、目標を下回る1.6%となったことから、C評価としました。	0円
		0円

3301	総合型地域スポーツクラブ支援事業	
所管課	スポーツ文化局 スポーツ振興課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
総合型地域スポーツクラブ 会員数	4,281人 (1%増)	3,894人 (8%減)
平成26年度取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・埼玉スタジアム2002にて、さいたま市総合型地域スポーツクラブの周知のためにクラブの活動状況を掲載したパネル展示や活動の実演等、イベントを開催しました。</li> <li>・総合型地域スポーツクラブを市民にPRするためのリーフレットを作成しました。</li> </ul>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
C	平成26年度の数値目標である総合型地域スポーツクラブ会員数4,281人(対平成25年度実績比1%増)について、3,894人(対平成25年度実績比8%減)であったことから、C評価としました。	191,000 円 ----- 157,040 円

3302	学校体育施設開放事業	
所管課	スポーツ文化局 スポーツ振興課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
学校開放校数	153校 (1校増)	152校 (増減なし)
平成26年度取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・与野東中学校に開放運営委員会の設置に向け支援しました。</li> <li>・既存の夜間照明設備を中心に開放施設のメンテナンス、修繕を行いました。</li> <li>・本太小学校の夜間照明設備について改修工事の設計を行いました。</li> </ul>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
C	平成26年度の数値目標である学校開放校数153校(対平成25年度実績比1校増)について、152校(対平成25年度実績比同数)であったことから、C評価としました。	19,123,000 円 ----- 14,078,444 円



3303	多目的広場整備事業	
所管課	スポーツ文化局 スポーツ振興課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
スポーツもできる多目的広場の整備箇所数	14か所 (1か所増)	14か所 (1か所増)
平成26年度取組内容		
新たに新大道橋下広場(浦和区大字三崎)を整備し、スポーツもできる多目的広場の整備箇所数を14か所にしました。		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の数値目標であるスポーツもできる多目的広場の整備箇所数14か所(対平成25年度実績比1か所増)について、目標どおりであったことから、B評価としました。	15,937,000 円 ----- 12,087,071 円

3304	(仮称)スポーツ施設の整備・運営推進事業	
所管課	スポーツ文化局 スポーツ振興課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
(仮称)スポーツ施設の整備・運営に関する指針の策定	スポーツ施設のデータ収集	スポーツ施設のデータ収集の検討
平成26年度取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・指針の構想案を検討し、データ収集の方法・内容等について検討をしました。</li> <li>・他市の状況をインターネットにより調査しました。</li> <li>・民間施設については、調査範囲を検討しました。</li> </ul>		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
C	平成26年度の目標であるスポーツ施設のデータ収集について、その方法、内容等を検討しましたが、収集までには至らなかったことから、C評価としました。	0 円 ----- 0 円

3305-1	国際スポーツイベント等の開催支援	
所管課	スポーツ文化局 スポーツ振興課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
国内外のトップレベルのスポーツ大会の開催支援数	12件	12件
平成26年度取組内容		
<p>誘致していた、3人制バスケットボールの世界大会アジア予選は開催地の選考から外れてしまいましたが、東京オリンピック正式種目入りを目指す3人制バスケット国内トーナメントの開催支援をしたほか、Jリーグや女子プロ野球の日本一を決定する試合に対して開催支援を行いました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の数値目標である国内外のトップレベルのスポーツ大会の開催支援数12件について、目標どおりであったことから、B評価としました。	5,000,000 円 ----- 0 円

3305-2	国際スポーツイベント等の開催支援	
所管課	スポーツ文化局 スポーツイベント課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
—	—	—
平成26年度取組内容		
<p>・2014ツール・ド・フランスさいたまクリテリウムを平成26年10月25日に開催しました。 ・2015ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム開催に向けて、早期から準備作業に着手しました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
—	—	331,061,000 円 ----- 329,921,190 円

3306-1	さいたまシティマラソン事業(参加者数)	
所管課	スポーツ文化局 スポーツイベント課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
ハーフ及び3kmの部参加者	15,000人	15,517人
平成26年度取組内容		
<p>市民の健康増進及びスポーツの振興を図るため、さいたまスーパーアリーナを会場として「2015さいたまシティマラソン」を開催しました。広く大会周知を図り、より多くの方に参加してもらうため、前回大会参加者への開催案内の通知やメディア(ラジオ等)を通じてランナー募集の告知を行いました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の数値目標であるハーフ及び3kmの部参加者15,000人について、目標を上回る15,517人となったことから、B評価としました。	75,090,000 円 ----- 59,383,063 円

3306-2	さいたまシティマラソン事業(フルマラソン化)	
所管課	スポーツ文化局 スポーツイベント課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
フルマラソン化	開催準備委員会(仮称)の設置 基本計画(案)の策定の検討	日本陸連、埼玉県等による 検討委員会の設置 国際女子マラソン及び市民 フルマラソンの開催検討
平成26年度取組内容		
<p>平成28年度開催を目指していたフルマラソン化について、フルマラソン開催準備委員会(仮称)の設置及び基本計画(案)の策定を検討しておりましたが、日本陸連等より女子マラソン代表選考レースとなる国際女子マラソンのさいたま市開催の打診があり、さいたまシティマラソンのフルマラソン化と併せ、平成27年度に同時開催することについて、日本陸連・埼玉県・さいたま市・読売新聞社・日本テレビの5者による検討委員会を設置し、開催検討を行いました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標である開催準備委員会(仮称)の設置及び基本計画(案)の策定の検討について、国際女子マラソンのさいたま市開催の打診があったことから、これに代えて、日本陸連、埼玉県等による検討委員会の設置並びに国際女子マラソン及び市民フルマラソンの開催検討ができたことから、B評価としました。	事業コード3306-1に 計上

3307	サッカーのまちづくり推進事業	
所管課	スポーツ文化局 スポーツ振興課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
シティカップ入場者数(1試合当たり)	—	—
平成26年度取組内容		
<p>・高校選抜サッカー選手団海外派遣事業、フットレリーフ設置事業、サッカー指導者講習会等の事業を展開し、サッカーを核としたまちづくりを推進しました。</p> <p>・さいたまシティカップについては、平成25年度の開催以降は隔年開催にすることと決定したため、平成26年度については準備期間として、Jリーグ日程及び招聘する海外クラブの情報収集を行う等、平成27年度の開催に向けた調整を進めました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
—	—	7,000,000 円
		6,195,122 円

3401-1	歴史文化資源の保存・継承・活用事業(史跡等保存管理計画)	
所管課	教育委員会事務局 文化財保護課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
史跡等保存管理計画の策定	真福寺貝塚保存管理計画策定の準備を行います。	真福寺貝塚の範囲・内容の確認調査を実施し、保存計画策定に向け、史跡全体の整備方針を策定しました。
平成26年度取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・真福寺貝塚の範囲・内容の確認調査結果を総括するとともに、それを踏まえ保存管理計画策定に向けた準備を行いました。</li> <li>・田島ヶ原サクラソウ自生地の保存管理計画に基づく施策や保全環境再生のための調整を行いました。</li> <li>・埋蔵文化財の保存施設である浦和文化財資料室の解体工事と家屋事後調査をほぼ完了するとともに、仮移転資料の保存と活用を進めました。</li> <li>・指定建造物の修理・復原に向けた検討会を開催し、修理方針を決定しました。</li> <li>・馬場小室山遺跡の保存管理方針の検討を進めるとともに、パンフレットを刊行して普及活用を図りました。</li> </ul>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の目標である、真福寺貝塚保存管理計画の策定準備について、目標どおり事業を進めることができたことから、B評価としました。	73,561,000 円 ----- 33,017,912 円

3401-2	歴史文化資源の保存・継承・活用事業(見沼通船堀再整備)	
所管課	教育委員会事務局 文化財保護課	倍增プラン45-2
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
見沼通船堀再整備	有識者の検討会を3回開催し、再整備方針を決定します。	有識者の検討会を3回開催し、再整備方針を決定しました。
平成26年度取組内容		
見沼通船堀再整備に向けた検討会や国・県との協議を通じて、再整備方針を決定しました。		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の目標である、有識者の検討会の開催(3回)及び再整備方針の決定について、目標どおり事業を進めることができたことから、B評価としました。	事業コード3401-1に計上

3401-3	歴史文化資源の保存・継承・活用事業(通船堀閘門開閉実演)	
所管課	教育委員会事務局 文化財保護課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
通船堀閘門開閉実演来訪者数	2,500人以上/年度	2,000人/年度
平成26年度取組内容		
<p>・閘門を実際に開閉し、当時の見沼通船の様子を再現しました。夏休みの終わり頃に実施し、子どもたちの学習にも供しました。</p> <p>・閘門の開閉だけでなく、2分の1に復元した船を浮かべ閘の間を航行させたり、見沼通船舟歌保存会による市指定無形民俗文化財の見沼通船舟歌の披露も行いました。</p> <p>・ポスター・チラシを市内の区役所や図書館等に配布する他、市内外の関係機関や東浦和駅、市内及び周辺の小・中・高等学校等に配布し、この実演の周知を図りました。併せて、市報・ホームページの掲載や、記者への情報提供を実施しました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
C	平成26年度の目標である、来訪者数2,500人について、当日の天候不良による見学者の減により、目標を下回ったことから、C評価としました。	事業コード3401-1に計上

3402-1	市史編さん事業(市史刊行)	
所管課	総務局 アーカイブズセンター	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
市史の刊行	市史編さん推進体制の整備、市史編さん基本計画・事業計画の策定	市史編さん審議会及び庁内連携会議の設置。市史編さん基本計画・事業計画策定
平成26年度取組内容		
<p>・市史編さんに関し必要な事項を調査審議するため、学識経験者等で組織する「さいたま市史編さん審議会」を設置しました。</p> <p>・市史編さんに関し必要な支援、情報共有等を行うための庁内プロジェクト・チームとして、「さいたま市史編さん庁内連携会議」を設置しました。</p> <p>・審議会から答申された内容に基づき、「さいたま市史編さん基本計画・事業計画」を策定しました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標である、市史編さん推進体制の整備、市史編さん基本計画・事業計画の策定について、目標どおり事業を進めることができたことから、B評価としました。	54,024,000 円 ----- 43,085,759 円

3402-2	市史編さん事業(歴史資料デジタル化)	
所管課	総務局 アーカイブズセンター	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
歴史資料のデジタル化	写真や旧市の市史等のデジタルデータ化	写真や旧市の市史等約800点をデジタルデータ化
平成26年度取組内容		
歴史資料をホームページ上で公開するための準備として、写真や旧市の市史等をデジタルデータ化しました。		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標である、写真や旧市の市史等のデジタルデータ化について、目標どおり事業を進めることができたことから、B評価としました。	事業コード3402-1に計上

3403-1	文化芸術都市創造事業((仮称)さいたまトリエンナーレ)	
所管課	スポーツ文化局 文化振興課	倍增プラン37
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
(仮称)さいたまトリエンナーレの開催	開催計画(開催概要)の策定機運醸成のためのPRの展開	開催計画(開催概要)の策定機運醸成のためのPRの展開
平成26年度取組内容		
<p>・準備委員会を3回開催し、事業名称や開催テーマなどを盛り込んだ「開催骨子」及び、会期、開催エリア、事業構想、公式ロゴ等を盛り込んだ「開催計画」を策定しました。</p> <p>・平成26年10月に、彩の国さいたま芸術劇場にて音楽イベントを開催し、さいたまトリエンナーレのキックオフ宣言を行ったほか、平成27年3月に都内で開催計画発表会を開催し、トリエンナーレのPRを行いました。また、開催計画発表会の同日に公式ホームページを開設しました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標である開催計画(開催概要)の策定及び機運醸成のためのPRについて、目標どおりであったことから、B評価としました。	42,268,000 円 ----- 34,191,670 円

3403-2	文化芸術都市創造事業(アーティスト・イン・レジデンス)	
所管課	スポーツ文化局 文化振興課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
アーティスト・イン・レジデンス事業の実施	導入スキームの検討	導入スキームの検討
平成26年度取組内容		
<p>・さいたまトリエンナーレ2016のアートプロジェクトとして、アーティスト・イン・レジデンスの導入スキームの検討を行いました。</p> <p>・平成27年度に実施予定のさいたまトリエンナーレ2016のプレイベントとして、国際的に活動しているアーティストを招へいし、アーティスト・イン・レジデンスを実施することとしたほか、国内外でアーティスト・イン・レジデンスを行っているディレクターやアーティストたちを招いてフォーラムを開催することとしました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標である導入スキームの検討について、目標どおりであったことから、B評価としました。	事業コード3403-1に計上

3404-1	(仮称)文化基金の創設(基金設置)	
所管課	スポーツ文化局 文化振興課	倍增プラン38-2
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
基金の設置	設置条例の制定	設置条例の制定
平成26年度取組内容		
基金の制度設計を行い、「文化芸術都市創造基金設置条例」を制定しました。		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標である基金条例の制定について、目標どおりであったことから、B評価としました。	0円
		0円



3404-2	(仮称)文化基金の創設(文化芸術関連事業)	
所管課	スポーツ文化局 文化振興課	倍增プラン38-2
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
基金を活用した文化芸術関連事業の実施	—	—
平成26年度取組内容		
—		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
—	—	0円
		0円

3405	(仮称)岩槻人形会館整備事業	
所管課	スポーツ文化局 文化施設建設準備室	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
(仮称)岩槻人形会館の整備	施設整備等の準備推進	施設PRのための所蔵品展等の開催
平成26年度取組内容		
<p>・(仮称)岩槻人形会館の建設場所について、「旧岩槻区役所敷地利用計画検討委員の意見」を踏まえて庁内で検討が行われました。</p> <p>・施設の整備推進にむけた広報・PRのため、所蔵品展及び関連事業としてワークショップ、講演会を実施しました。また、資料修復等を推進しました。</p> <p>・(仮称)岩槻人形会館支援組織構築支援業務では、組織構築に向け、市民団体や商工団体等との連携の構築・強化を目的とした事業を展開しました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標である施設整備等の準備推進について、施設PRのための所蔵品展等の開催などを行ったことから、B評価としました。	23,308,000円
		21,712,420円

3406-1	盆栽文化振興事業(年間来館者)	
所管課	スポーツ文化局 大宮盆栽美術館	倍增プラン38-1
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
年間来館者数	60,000人/年度	60,561人/年度
平成26年度取組内容		
<p>企画展・特別展(秋季・春季)の開催をはじめとする各種の盆栽関連講座及びイベントの実施、各種メディアへの館の活動に関する積極的な広報及び取材対応、民間企業の協力による事業費をかけないPR活動の実施などにより、来館者の増加を図りました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の数値目標である年間来館者数60,000人について、60,561人であったことから、B評価としました。	107,678,000 円
		94,406,660 円

3406-2	盆栽文化振興事業(盆栽文化普及事業)	
所管課	スポーツ文化局 大宮盆栽美術館	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
盆栽文化普及事業の年間開催数	77回/年度	101回/年度
平成26年度取組内容		
<p>企画展や特別展の関連講座、夏休み期間中の関連講座、盆栽ワークショップなど、小学生からシニアにいたる年齢層に対応した講座を開催しました。また、受講希望者が多い講座については、増設対応し、多くの方が受講できるようにしました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
A	平成26年度の数値目標である盆栽文化普及事業の年間開催数77回について、101回であったことから、A評価としました。	事業コード3406-1に計上

3406-3	盆栽文化振興事業(その他)	
所管課	経済局 観光国際課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
—	—	—
平成26年度取組内容		
<p>大宮盆栽を世界に発信し、国内外からの観光客を誘致するため、大宮盆栽JAPANブランド化事業を支援するとともに、「第8回世界盆栽大会inさいたま」の開催に向けた支援を実施しました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
—	—	17,602,000 円
		----- 14,166,656 円

4101-1	参加と協働によるまちづくり推進事業(広報誌設置・配布協力企業)	
所管課	都市局 都市総務課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
広報誌設置・配布協力企業(団体)数	2件(1件増)	3件(2件増)
平成26年度取組内容		
市民と行政の協働によるまちづくりの取組や市民活動の状況等を掲載内容としたまちづくり広報誌「korekara」の第20号を発行するとともに、市内企業(団体)へ当該広報誌の設置・配布の協力依頼を行いました。		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
A	平成26年度の数値目標である広報誌設置・配置協力企業(団体)数2件について、金融機関への設置・配布協力を得ることができ、目標を上回る3件となったことから、A評価としました。	4,245,000 円
		3,431,790 円

4101-2	参加と協働によるまちづくり推進事業(新たな情報発信)	
所管課	都市局 都市総務課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
新たな情報発信手段数	新たな情報発信手段の検討	「korekara」電子書籍化
平成26年度取組内容		
市民と行政の協働によるまちづくりの取組や市民活動の状況等を紹介するに当たり、多様なニーズに対応するため、新たな情報発信手段を検討しました。		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
A	平成26年度の目標である新たな情報発信手段の検討について、都市局広報誌「korekara」をブックシェルフ埼玉へ登録し、電子書籍化することにより、第1号から最新号まで常時閲覧することが可能となったことから、A評価としました。	0 円
		0 円

4101-3	参加と協働によるまちづくり推進事業(まちづくり支援新規交付団体)	
所管課	都市局 まちづくり総務課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
まちづくり支援補助金新規交付団体数	新規交付団体設立に向けた専門家派遣(2団体)による活動の支援	新規交付団体設立に向け2団体に専門家を派遣し活動を支援しました。
平成26年度取組内容		
まちづくり支援補助金を新たに活用する団体の増加を図るため、まちづくり活動を行っている2団体に対し、まちづくり専門家を派遣し、講義、指導、助言等により活動を支援しました。		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標である専門家派遣による活動支援について、目標どおり事業を進めることができたことから、B評価としました。	5,940,000 円 ----- 2,812,590 円

4101-4	参加と協働によるまちづくり推進事業(まちづくり支援制度)	
所管課	都市局 まちづくり総務課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
まちづくり支援制度による成果団体数	26団体(3団体増)	26団体(3団体増)
平成26年度取組内容		
まちづくりグループや団体に対するまちづくり専門家の派遣や自主的なまちづくり団体に対するまちづくり支援補助金の交付を行い、当該制度による成果団体が3団体増え、26団体となりました。		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標である成果団体数の増加について、目標どおり事業を進めることができたことから、B評価としました。	事業コード4101-3に計上

4102-1	都市計画マスタープラン推進事業(区域区分の見直し)	
所管課	都市局 都市計画課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
土地利用方針に基づく区域区分の見直し要領の策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区域区分見直しの基本的な考え方の整理</li> <li>・区域区分見直し要領(案)の作成</li> </ul>	「区域区分見直し要領」及び「さいたま都市計画都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」の素案を作成
平成26年度取組内容		
<p>埼玉県都市計画課及び農業政策課と協議を行いながら将来フレームの検討・推計を行うとともに、区域区分見直しの基本的な考え方の整理を行い、「区域区分見直し要領」及び「さいたま都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」について庁内照会を行い、素案を作成しました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の目標について、当初の予定通り実施することができたことから、B評価としました。	18,151,000 円
		15,702,170 円

4102-2	都市計画マスタープラン推進事業(地域別まちづくり構想)	
所管課	都市局 都市計画課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
地域別まちづくり構想の策定	策定	大宮駅周辺地域、岩槻駅周辺地域、さいたま新都心周辺地域について構想案を作成
平成26年度取組内容		
<p>大宮駅周辺地域、岩槻駅周辺地域、さいたま新都心周辺地域の3地区に係る既存の地域のまちづくりに関する行政計画について、計画を所管する部署へ照会や調整を行い、都市計画マスタープランの地域別まちづくり構想として案を作成しました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の目標について、3地区について構想案の作成を行い、地域別まちづくり構想として都市計画審議会での手続きを経て策定する準備ができ、目標を概ね達成できたことから、B評価としました。	事業コード4102-1に計上

4103-1	土地区画整理事業(都心・副都心を除く)	
所管課	都市局 区画整理支援課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
土地区画整理事業	推進	推進
平成26年度取組内容		
14の土地区画整理組合に対し、補助金等の交付を行い、土地区画整理事業の促進を図るとともに、事業の長期化が想定される地区の現状分析・課題を抽出し、解決方策の検討を行いました。		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標について、当初の予定通り実施することができたことから、B評価としました。	6,555,631,000 円 ----- 5,741,025,533 円

4103-2	土地区画整理事業(都心・副都心を除く)	
所管課	都市局 日進・指扇周辺まちづくり事務所	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
土地区画整理事業	進捗率 指扇:22.5%	進捗率 指扇:18.4%
平成26年度取組内容		
権利者と合意形成を図り、家屋の移転や道路築造工事、宅地造成工事等を実施しました。		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
C	平成26年度の目標である、事業進捗率について、関係権利者との交渉などに不測の期間を要したことにより目標を達成できなかったことから、C評価としました。	628,000,000 円 ----- 311,734,907 円

4103-3	土地区画整理事業(都心・副都心を除く)	
所管課	都市局 東浦和まちづくり事務所	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
土地区画整理事業	進捗率 東浦和第二:37.8%	進捗率 東浦和第二:37.0%
平成26年度取組内容		
土地区画整理事業の施行に必要な建物や立竹木の移転に対し補償を実施するとともに、盛土や道路、擁壁の測量、設計業務を委託し、築造工事などを実施しました。		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の数値目標である、土地区画整理事業について、当初の目標を概ね達成することができたことから、B評価としました。	1,516,857,000 円 ----- 1,086,957,940 円

4103-4	土地区画整理事業(都心・副都心を除く)	
所管課	都市局 与野まちづくり事務所	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
土地区画整理事業	進捗率 与野駅西口:79.0% 南与野駅西口:63.0%	進捗率 与野駅西口:77.9% 南与野駅西口:61.8%
平成26年度取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・与野駅西口土地区画整理事業においては、移転補償に伴う建物等調査・積算業務及び街区点等杭打ち測量業務や道路施設整備工事、建物等の移転補償を実施しました。</li> <li>・南与野駅西口土地区画整理事業においては、工事設計業務、建物等調査積算業務及び建物等移転補償、道路整備工事、造成工事等を実施しました。</li> </ul>		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の数値目標である、土地区画整理事業について、当初の目標を概ね達成することができたことから、B評価としました。	785,535,000 円 ----- 581,154,858 円



4104-1	長期未着手地区まちづくり推進事業	
所管課	都市局 まちづくり総務課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
長期未着手地区の解消	都市計画法による手続きの開始(2地区)	2地区において都市計画法による手続きを開始しました。
平成26年度取組内容		
辻地区及び南浦和第三地区において、住民の意向を把握するため、説明会や意見募集を実施するとともに、土地区画整理の都市計画の見直しに向けた都市計画法による手続きを開始しました。		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標である都市計画法による手続きの開始について、目標どおり事業を進めることができたことから、B評価としました。	14,569,000 円 ----- 9,648,492 円

4104-2	長期未着手地区まちづくり推進事業	
所管課	都市局 浦和西部まちづくり事務所	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
長期未着手地区の解消	地区マスタープラン策定の事前準備や関係機関との連絡調整等	地区マスタープラン策定の事前準備や関係団体と連絡調整をしました。
平成26年度取組内容		
平成27年度より地区マスタープラン策定に取り掛かるための事前準備や関係機関(地元まちづくり団体、庁内関係課所、都市再生機構等)との連絡調整等を行いました。		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標について、庁内の合意形成が進み、関係機関等と協議し、まちづくり方策の検討の下準備ができたことから、B評価としました。	0 円 ----- 0 円

4105-1	西大宮駅周辺地区まちづくり推進事業(大宮西部特定土地区画整理事業)	
所管課	都市局 日進・指扇周辺まちづくり事務所	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
大宮西部特定土地区画整理事業進捗率	進捗率:88.5%	進捗率:88.5%
平成26年度取組内容		
<p>独立行政法人都市再生機構が施行する大宮西部特定土地区画整理事業を支援(分担金の支出など)するとともに、西大宮駅南口駅前広場の植栽管理や借地に伴う農業補償を行いました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標である、区画整理事業進捗率について、目標どおり事業を進めることができたことから、B評価としました。	425,343,000 円 ----- 423,325,811 円

4105-2	西大宮駅周辺地区まちづくり推進事業(指扇地区アクセス道路整備)	
所管課	都市局 日進・指扇周辺まちづくり事務所	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
指扇地区アクセス道路整備率	整備方針の検討	整備方針の検討については、進展に至りませんでした。
平成26年度取組内容		
<p>指扇地区のアクセス道路整備に向けた整備方針の検討に至りませんでした。</p>		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
C	平成26年度の目標である整備方針の検討について、進展に至らなかったことから、C評価としました。	0 円 ----- 0 円

4106-1	与野本町駅周辺地区まちづくり推進事業(マスタープラン策定)	
所管課	都市局 まちづくり総務課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
マスタープラン策定	策定	未策定
平成26年度取組内容		
<p>与野本町駅周辺地区まちづくりマスタープランの策定に向け、「さいたま市与野本町駅周辺地区まちづくりマスタープラン策定委員会」の開催(5回)や市民説明会等を実施し、素案をまとめました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
C	平成26年度の目標である「マスタープランの策定」について、策定委員会にて素案を取りまとめることができましたが、目標達成に至らなかったことから、C評価としました。	8,506,000 円 ----- 11,813,252 円

4106-2	与野本町駅周辺地区まちづくり推進事業(アクションプラン策定)	
所管課	都市局 まちづくり総務課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
アクションプラン策定	—	—
平成26年度取組内容		
—		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
—	—	0 円 ----- 0 円

4107-1	民有地における緑の創出事業(みどりの街並みづくり)	
所管課	都市局 みどり推進課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
みどりの街並みづくり助成事業により創出された緑化面積	2,826㎡(400㎡増)	2,603㎡(177㎡増)
平成26年度取組内容		
市街地の緑化を推進し、都市環境の向上を図るため、建築物や道路に面した敷地の緑化(屋上緑化、壁面緑化、沿道緑化)に係る経費の一部を助成する「みどりの街並みづくり助成事業」のPRを行い、活用の促進を図りました。		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
C	平成26年度の数値目標である緑化面積単年度400㎡について、目標を下回る177㎡の緑化面積であったことから、C評価としました。	6,480,000 円 ----- 2,814,360 円

4107-2	民有地における緑の創出事業(緑化協議により創出された緑化面積)	
所管課	都市局 みどり推進課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
緑化協議により創出された緑化面積	89.4ha(10ha増)	94.2ha(14.8ha増)
平成26年度取組内容		
「さいたま市みどりの条例」に基づき、一定規模以上の開発行為等を行う際に必要となる緑化協議により緑の創出を図りました。		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
A	平成26年度の数値目標である緑化面積単年度10haについて、目標を上回る14.8haの緑化面積を創出したことから、A評価としました。	0 円 ----- 0 円

4107-3	民有地における緑の創出事業(家庭における緑のカーテン)	
所管課	都市局 みどり推進課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
家庭における緑のカーテンの普及	①家庭用ゴーヤの配布 ②緑のカーテン講習会の開催 ③緑のカーテンPR冊子の作成	①家庭用ゴーヤの配布 ②緑のカーテン講習会の開催 ③緑のカーテンPR冊子の作成
平成26年度取組内容		
<p>ゴーヤなどのツル性の植物で作る「緑のカーテン」の普及・啓発のため、市ホームページを活用したアンケート協力者へのゴーヤ種の配布や緑のカーテン講習会の実施、緑のカーテンPR冊子の作成・配布を行いました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の目標について、目標どおり事業を進めることができたことから、B評価としました。	702,000 円
		388,838 円

4108	身近な公園整備事業	
所管課	都市局 都市公園課	倍增プラン53
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
身近な公園整備	838公園(6公園増)	円阿弥ふれあい公園・桜丘ふれあい公園・愛宕ふれあい広場の3か所を整備し開設しました。
平成26年度取組内容		
<p>市民の憩いやレクリエーションの場を創出する都市公園の適正な配置・整備に向け、6か所を新規整備するとともに、身近な公園空白地域の解消に向けた整備方針を策定しました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
C	平成26年度の数値目標である公園6か所開設について、予定どおり整備に着手しましたが、地元関係者との調整や工事スケジュール等の遅れにより、年度内の開設は3か所にとどまったことから、C評価としました。	824,482,000 円
		671,824,760 円

4109	秋葉の森総合公園整備事業	
所管課	都市局 都市公園課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
公園整備	①関係部署との協議 ②環境アセスメントに向けた検討	関係部署との協議を行いつつ用地取得のため地権者交渉を行いました。
平成26年度取組内容		
<p>緑に囲まれた良好な自然環境の中で、貴重な動植物を保護しつつ、自然と人間が共存できる公園の整備に向け、関係部署との協議を行いつつ用地取得のため地権者交渉を行いました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
C	平成26年度の目標である関係部署との協議および環境アセスメントに向けた検討について、関係部署との協議が継続中であり、整備方針の決定に至っていないことから、C評価としました。	10,000,000 円 ----- 0 円

4110	与野中央公園整備事業	
所管課	都市局 都市公園課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
公園整備	①用地取得 ②基本計画の見直し	公園用地の買収を進め、用地買収率が91%となりました。
平成26年度取組内容		
<p>市街地における緑に囲まれた市民の憩いや運動の場となる総合公園の整備に向けて、用地買収を進めました。また、県調節池の設置計画に合わせた公園計画の見直しを含めた協議を行いました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の目標について、当初の計画どおり公園用地の買収を進めることができたことから、B評価としました。	335,711,000 円 ----- 334,126,021 円

4111	暮らしの道路・スマイルロード整備事業	
所管課	建設局 道路環境課	倍增プラン51
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
新規着手件数	150件	148件
平成26年度取組内容		
<p>・暮らしの道路整備事業、スマイルロード整備事業を合わせて年間148件整備しました。          ・「未処理案件削減方策」に基づき、要望を受理する前に事前調査を行い、整備の可否の確認を行いました。          ・引き続き、要望の受付や対応状況については図化をするなど見やすく工夫し、市ホームページで公表しました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の数値目標である、150件に対し、148件の整備を行ったことから、B評価としました。	2,827,680,000 円 ----- 3,043,953,960 円

4112-1	自転車政策事業((仮称)自転車まちづくり大綱)	
所管課	都市局 自転車まちづくり推進課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
「(仮称)自転車まちづくり大綱」の策定	①検討懇話会の発足 ②シンポジウムでの素案発表及び大綱素案のパブリックコメントの実施	①検討懇話会の実施(計5回) ②12月～1月に、パブリックコメントを実施。
平成26年度取組内容		
<p>・「(仮称)さいたま自転車まちづくり大綱」を策定するために、庁内検討会及び学識経験者を交えた検討懇話会を設置し、5回開催しました。          ・平成26年9月の「自転車まちづくりシンポジウムinさいたま」で骨子を発表したほか、大綱素案については12月よりパブリック・コメントを実施しました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の目標について、当初の予定通り実施することができたことから、B評価としました。	255,921,000 円 ----- 234,412,887 円

4112-2	自転車政策事業(放置自転車)	
所管課	都市局 自転車まちづくり推進課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
放置自転車の撤去台数	20,000台/年度	17,496台
平成26年度取組内容		
<p>ポスターコンクール等による自転車放置防止の啓発を行いながら、放置自転車の監視・撤去を継続的に行いました。特に、放置自転車が多い駅に対して重点的に指導、啓発活動を実施しました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
A	平成26年度の数値目標について、当初の目標を大きく上回り、減少したことから、A評価としました。	事業コード4112-1に計上

4112-3	自転車政策事業(コミュニティサイクル)	
所管課	都市局 自転車まちづくり推進課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
コミュニティサイクル総利用回数	107,464回 (60,000回増)	157,020回 (109,556回増)
平成26年度取組内容		
<p>他機能を有した自転車の導入に伴う問題点の検討や、まちなかの商店等との連携による回遊性の向上策などについて検討しました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
A	平成26年度の数値目標について、総利用回数が目標を大幅に上回ったことから、A評価としました。	事業コード4112-1に計上



4113	自転車通行環境整備事業	
所管課	建設局 道路環境課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
自転車通行環境整備延長	28km(15km増)	15km(2km増)
平成26年度取組内容		
<p>迅速な整備拡大のため、自転車通行帯確保のための用地買収は行わず、現況の道路幅員内での路面表示や歩車道境界ブロックの位置調整などによる整備を原則とし、「自転車通行環境整備計画」に基づく設計・施工を行い、自転車通行環境を2km整備しました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
C	平成26年度の数値目標である、自転車通行環境整備15kmに対して、13kmの整備に着手しましたが、年度内に完了した整備実績は2kmとなり、目標を達成できなかったことから、C評価としました。	284,920,000 円
		163,228,920 円

4114	「じょうほう快適都市」推進事業	
所管課	市民局 ICT政策課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
「情報化計画」の策定	「第四次情報化計画」及び「アクションプラン」の策定	「第四次情報化計画」及び「アクションプラン」の策定を完了
平成26年度取組内容		
<p>計画策定のための庁内会議を6月に開催し、情報化事業の洗い出しを行いました。その後、12月にパブリックコメントを実施し、平成27年3月に「第四次情報化計画」及び「アクションプラン」を策定しました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の目標である「第四次情報化計画」及び「アクションプラン」の策定を完了したことから、B評価としました。	17,878,000 円
		16,200,000 円

4115-1	地域ICT人材育成支援事業(地域ICTリーダー活動支援講座)	
所管課	市民局 ICT政策課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
地域ICTリーダーを講師とする講座開催数	16回/年度	16回/年度
平成26年度取組内容		
<p>地域ICTリーダーが講師としての経験を得ることを目的とした「地域ICTリーダー活動支援講座」を前期(8月下旬～9月下旬)と後期(12月中旬～3月中旬)にかけて、計16回開催するとともに、地域ICTリーダーを新規に養成するための「地域ICTリーダー養成講座」を10月中に計4回及び地域ICTリーダー同士の交流を図る「地域ICTリーダー交流会」を7月、11月、3月に計3回開催しました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標である「地域ICTリーダーを講師とする講座開催」について、16回開催し目標を達成できたことから、B評価としました。	3,049,000 円 ----- 2,463,878 円

4115-2	地域ICT人材育成支援事業(地域ICTリーダーレベルアップ講座)	
所管課	市民局 ICT政策課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
地域ICTリーダーレベルアップ講座開催数	5回/年度	10回/年度
平成26年度取組内容		
<p>地域ICTリーダーとして活動を進めていく上で必要になると考えられる、基本的なパソコン操作よりもさらに一歩進んだパソコン操作技術などについて、講義と演習を交えて学ぶ「地域ICTリーダーレベルアップ講座」を前期(7月下旬～8月中旬)と後期(11月上旬～12月中旬)にかけて、計10回開催しました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
A	平成26年度の目標である「地域ICTリーダーレベルアップ講座開催数」について、10回開催し目標を上回ったことから、A評価としました。	事業コード4115-1に計上

4201-1	大宮駅東口周辺地区まちづくり推進事業(大門町2丁目中地区市街地再開発事業)	
所管課	都市局 大宮駅東口まちづくり事務所	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
大門町2丁目中地区市街地再開発事業	①再開発組合設立 ②事業計画認可 ③権利変換計画認可申請	①再開発組合設立認可
平成26年度取組内容		
大宮駅東口のリーディングプロジェクトとしてまちづくりを推進するため、準備組合が組合設立に向けた同意の取りまとめを実施し、組合設立認可を取得しました。		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
C	平成26年度の目標について、再開発組合の設立認可に至ることができましたが、事業計画認可と権利変換計画認可申請については達成することができなかったことから、C評価としました。	991,162,000 円 ----- 1,166,329,853 円

4201-2	大宮駅東口周辺地区まちづくり推進事業(氷川緑道西通線)	
所管課	都市局 大宮駅東口まちづくり事務所	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
氷川緑道西通線の整備	【南区間】 ①用地買収(100%) ②電線共同溝整備工事(300m) 【北区間】 事業認可取得	【南区間】 ①用地買収(81.45%※権利者合意においては100%) ②電線共同溝整備工事着手 【北区間】 事業認可取得(H26.8.29)
平成26年度取組内容		
交通機能の強化や快適なネットワークの形成を推進するため、南区間の用地買収及び電線共同溝等整備工事(195m)を実施するとともに、北区間の事業認可の取得及び建物・営業調査を行いました。		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
C	平成26年度の目標について、北区間については事業認可を取得したものの、南区間において当初の目標を下回ったことから、C評価としました。	事業コード4201-1に計上

4201-3	大宮駅東口周辺地区まちづくり推進事業(大宮駅東口公共施設再編)	
所管課	都市局 大宮駅東口まちづくり事務所	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
大宮駅東口公共施設の再編	①導入機能の具体化 ②事業手法の検討 ③市民意見の聴取時期、方法の検討	公共施設再編による事業効果の検証を実施しました。
平成26年度取組内容		
大宮駅東口の連鎖型まちづくりを推進するため、公共施設の再編による大宮駅東口全体への事業効果を検証するとともに、公共施設跡地の活用方針について検討しました。		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標について、公共施設再編における施設跡地の活用方針について検討し、大宮駅東口全体への事業効果を検証することができたことから、B評価としました。	事業コード4201-1に計上

4201-4	大宮駅東口周辺地区まちづくり推進事業(大宮駅東口駅前南地区まちづくり)	
所管課	都市局 大宮駅東口まちづくり事務所	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
大宮駅東口駅前南地区のまちづくり	①準備組合の設立準備 ②事業協力者の選定	①準備組合の設立準備 ②事業協力者の参加による事業推進の検討
平成26年度取組内容		
まちづくり推進協議会を支援し、準備組合設立に向けた協議会への加入促進を実施し、勉強会の参加者を増やすことができました。また、事業協力者が参加した場合の事業推進の検討を行い、事業協力者の選定準備を行いました。		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標について、当初の計画を概ね実施することができたことから、B評価としました。	事業コード4201-1に計上

4201-5	大宮駅東口周辺地区まちづくり推進事業((仮称)アーバンデザインセンター大宮)	
所管課	都市局 大宮駅東口まちづくり事務所	倍增プラン60-2
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
(仮称)アーバンデザインセンター大宮	①「情報発信の場」の設置 ②センターへの市の役割や支援方策等の検討	①「情報発信の場」の設置 ②官・民・学協働による情報発信
平成26年度取組内容		
まちづくり団体等の「民」が中心となり、模型やパネル等の展示による「情報発信の場」が設置されました。この「情報発信の場」を官・民協働で運営し、大学と連携した情報発信の活動を行いました。		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の目標である、「情報発信の場」の設置について、平成26年7月に開設し、各種情報発信を行うことができたことから、B評価としました。	事業コード4201-1に計上

4201-6	大宮駅東口周辺地区まちづくり推進事業(氷川参道歩行者専用道路化)	
所管課	都市局 氷川参道対策室	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
氷川参道の歩行者専用道路化	歩行者専用道路化検討協議会の設置	歩行者専用道路化検討協議会の設置
平成26年度取組内容		
氷川参道の歩行者専用道路化に伴う交通影響調査を実施するとともに、「氷川参道歩行者専用化検討協議会」を設置し、会議を2回開催しました。		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の目標である、歩行者専用道路化検討協議会の設置について、目標どおり実施できたことから、B評価としました。	8,754,000 円 ----- 8,581,126 円

4201-7	大宮駅東口周辺地区まちづくり推進事業(氷川参道並木保全整備)	
所管課	都市局 氷川参道対策室	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
氷川参道の並木保全の整備延長	1,015m/1,450m (70.0%)	1,015m/1,450m (70.0%)
平成26年度取組内容		
氷川参道並木の保護を目的に、地元まちづくり協議会と協働で、延長210mの区間に中低木植栽を行いました。		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標である、並木保全の整備延長について、目標どおり事業を進めることができたことから、B評価としました。	事業コード4201-6に計上

4202-1	大宮駅西口周辺地区まちづくり推進事業(第3-B地区市街地再開発)	
所管課	都市局 大宮駅西口まちづくり事務所	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
第3-B地区市街地再開発事業	都市計画決定及び変更	都市計画決定及び変更に向けて手続中
平成26年度取組内容		
庁内外の関係機関と都市計画決定及び変更に向けた協議を行うとともに、準備組合を支援し、事業化を促進しました。		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
C	平成26年度の目標である「都市計画決定及び変更」について、都市計画決定に至らなかったことから、C評価としました。	2,068,041,000 円 ----- 1,851,698,758 円

4202-2	大宮駅西口周辺地区まちづくり推進事業(第3-A・D地区市街地再開発)	
所管課	都市局 大宮駅西口まちづくり事務所	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
第3-A・D地区市街地再開発事業	市街地再開発事業施行区域の確定	施行区域を含めた都市計画決定・変更素案について協議中
平成26年度取組内容		
市街地再開発事業施行区域の確定及び都市計画決定・変更素案確定に向けた協議を行い、施行区域を含めた都市計画決定、変更を行う上での基本的な方向性について合意に至りました。		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
C	平成26年度の目標である「市街地再開発事業施行区域の確定」について、区域の確定に至らなかったことから、C評価としました。	事業コード4202-1に計上

4202-3	大宮駅西口周辺地区まちづくり推進事業(上落合桜木線)	
所管課	都市局 大宮駅西口まちづくり事務所	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
上落合桜木線の整備率	3.0%	2.9%
平成26年度取組内容		
土地区画整理地区内については、インフラ及び道路整備工事を行い、地区外については、交差点部の用地買収交渉及び事業認可に向けた道路の予備設計を行いました。		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の数値目標について、予備設計業務の発注を行うとともに、交差点部の用地買収交渉を行い、概ね目標どおりに実施することができたことから、B評価としました。	事業コード4202-1に計上

4202-4	大宮駅西口周辺地区まちづくり推進事業(大宮駅西口第四土地区画整理事業)	
所管課	都市局 大宮駅西口まちづくり事務所	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
大宮駅西口第四土地区画整理事業の進捗率	81.6%	78.7%
平成26年度取組内容		
建物等移転補償(77件)、中断移転補償(64件)を実施するとともに、道路整備工事、整地工事、建物調査積算業務、調査測量業務等を行いました。		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標について、概ね目標どおり実施することができたことから、B評価としました。	事業コード4202-1に計上

4203-1	さいたま新都心周辺地区まちづくり推進事業(まちづくり推進協議会事業)	
所管課	都市局 都心整備課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
まちづくり推進協議会事業への参加者数	905,000人/年度	946,000人/年度
平成26年度取組内容		
さいたま新都心まちづくり推進協議会が行う魅力あるまちなみ空間の形成や、にぎわい創出に向けた事業を推進し、当該事業への参加者の増加を図りました。		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標である、まちづくり推進協議会事業への参加者数について、目標どおり事業を進めることができたことから、B評価としました。	520,000 円 ----- 520,000 円



4203-2	さいたま新都心周辺地区まちづくり推進事業(社会科見学・障がい者疑似体験)	
所管課	都市局 都心整備課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
社会科見学・障がい者疑似体験者数	3,425人／年度	2,318人／年度
平成26年度取組内容		
<p>バリアフリーのまちづくりを推進するため、ボランティアの活動拠点となるさいたま新都心ふれあいプラザを管理運営し、ボランティア活動(社会科見学や車いす体験などの障がい者疑似体験のサポートなど)の支援や啓発を行いました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
C	平成26年度の目標である、社会科見学・障がい者疑似体験者数について、目標を下回ったことから、C評価としました。	16,373,000 円 ----- 14,877,772 円

4203-3	さいたま新都心周辺地区まちづくり推進事業(バリアフリー施設機能更新)	
所管課	都市局 都心整備課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
バリアフリー施設の機能更新率	—	—
平成26年度取組内容		
—		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
—	—	0 円 ----- 0 円

4203-4	さいたま新都心周辺地区まちづくり推進事業(北袋1丁目地区)	
所管課	都市局 都心整備課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
北袋1丁目地区の適正な土地利用の転換と活用	北袋1丁目地区の都市計画決定及び歩行者デッキの基本計画策定	北袋町1丁目土地地区画整理事業等の都市計画決定及び歩行者デッキの基本計画の策定
平成26年度取組内容		
さいたま新都心将来ビジョンに掲げる目標の実現に向けた、北袋1丁目地区における適正な土地利用転換の促進として、北袋町1丁目土地地区画整理事業の都市計画決定及び歩行者デッキの基本計画の策定を行いました。		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標である、北袋1丁目地区の都市計画決定及び歩行者デッキの基本計画策定について、目標どおり事業を進めることができたことから、B評価としました。	9,720,000 円
		8,532,000 円

4204-1	浦和駅周辺地区まちづくり推進事業(浦和駅西口南高砂地区再開発事業)	
所管課	都市局 浦和駅周辺まちづくり事務所	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
浦和駅西口南高砂地区再開発事業	権利変換計画策定に向けた実施設計に着手	権利変換計画策定に向けた実施設計に着手
平成26年度取組内容		
浦和駅西口南高砂地区再開発事業の権利変換計画の策定に向けた実施設計に着手しました。		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標である、権利変換計画策定に向けた実施設計に着手することができたことから、B評価としました。	2,142,079,000 円
		355,086,002 円

4204-2	浦和駅周辺地区まちづくり推進事業(浦和西口停車場線整備)	
所管課	都市局 浦和駅周辺まちづくり事務所	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
浦和西口停車場線(県庁通り)の整備	事業用地取得	事業用地取得
平成26年度取組内容		
都市計画道路浦和西口停車場線(県庁通り)を整備するため、事業用地の取得、補償等を実施しました。		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標である、事業用地の取得、補償等を実施することができたことから、B評価としました。	事業コード4204-1に計上

4204-3	浦和駅周辺地区まちづくり推進事業(田島大牧線整備)	
所管課	都市局 浦和駅周辺まちづくり事務所	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
田島大牧線(高砂工区)の整備	道路整備中 ※浦和駅西口南高砂地区再開 発事業に併せて実施	道路整備中
平成26年度取組内容		
都市計画道路田島大牧線(高砂工区)を整備しました。		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標である「道路整備中」について、浦和駅西口南高砂地区再開発事業と併せて実施することができたことから、B評価としました。	事業コード4204-1に計上

4204-4	浦和駅周辺地区まちづくり推進事業((仮称)浦和駅西口地下通路整備)	
所管課	都市局 浦和駅周辺まちづくり事務所	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
(仮称)浦和駅西口地下通路の整備	詳細設計完了	詳細設計完了
平成26年度取組内容		
浦和駅構内の東西連絡通路と西口ロータリーのバスターミナルの地下通路を接続する(仮称)浦和駅西口地下通路の詳細設計を実施しました。		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標である、(仮称)浦和駅西口地下通路の詳細設計を実施することができたことから、B評価としました。	38,968,000 円 ----- 794,190,131 円

4205-1	武蔵浦和駅周辺地区まちづくり推進事業(第1街区)	
所管課	都市局 浦和西部まちづくり事務所	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
第1街区市街地再開発事業進捗率	63.0%	63.0%
平成26年度取組内容		
施行者である独立行政法人都市再生機構等に対し、市街地再開発事業費補助金及び公共施設管理者負担金を交付し、事業促進を図りました。		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標である、事業進捗率について、目標どおり事業を進めることができたことから、B評価としました。	227,712,000 円 ----- 196,479,200 円

4205-2	武蔵浦和駅周辺地区まちづくり推進事業(第3街区)	
所管課	都市局 浦和西部まちづくり事務所	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
第3街区市街地再開発事業進捗率	64.8%	67.8%
平成26年度取組内容		
<p>施行者である市街地再開発組合に対し、市街地再開発事業費補助金及び公共施設管理者負担金を交付し、事業促進を図りました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標である、事業進捗率について、概ね目標どおりに実施することができたことから、B評価としました。	1,076,500,000 円
		821,030,000 円

4205-3	武蔵浦和駅周辺地区まちづくり推進事業(第7-1街区)	
所管課	都市局 浦和西部まちづくり事務所	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
第7-1街区のまちづくり	①現況及び課題の調査 ②アンケート調査 ③まちづくりの方向性の検討	アンケート調査実施、調査結果から、まちづくり手法を検討しました。
平成26年度取組内容		
<p>地区の現況や課題の調査、権利者を対象としたアンケート調査等を平成27年2月に行い、まちづくりの方向性を検討しました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標である、調査・検討について、アンケート調査を実施し、まちづくり方策の整理ができたことから、B評価としました。	2,400,000 円
		2,484,000 円

4205-4	武蔵浦和駅周辺地区まちづくり推進事業(第8-2街区)	
所管課	都市局 浦和西部まちづくり事務所	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
第8-2街区のまちづくり	①現況及び課題の調査 ②まちづくり検討会の開催 ③まちづくりの方向性の検討	まちづくり検討会を3回開催し、意見交換から今後のまちづくり方針を検討しました。
平成26年度取組内容		
地区の現況や課題の調査、権利者を対象としたまちづくり検討会の開催等を行い、まちづくりの方向性を検討しました。		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標である、調査や方向性の検討等について、まちづくり検討会を開催し、権利者の意向を把握し、まちづくりについての一定の合意形成ができたことから、B評価としました。	事業コード4205-3に計上

4206-1	日進駅周辺地区まちづくり推進事業(南口駅前広場)	
所管課	都市局 日進・指扇周辺まちづくり事務所	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
南口駅前広場の整備	関係機関協議・調整	関係機関協議・調整完了
平成26年度取組内容		
平成27年度からの南口駅前広場の整備着手に向けて、関係機関との協議・調整を行いました。		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標である、「関係機関協議・調整」について、平成27年度からの南口駅前広場工事に着手する準備が整ったことから、B評価としました。	17,753,000 円 ----- 9,968,421 円

4206-2	日進駅周辺地区まちづくり推進事業(日進七夕通り)	
所管課	都市局 日進・指扇周辺まちづくり事務所	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
日進七夕通りの美装化	詳細設計実施	詳細設計実施
平成26年度取組内容		
日進七夕通りにおける歩道整備、電線類地中化等美装化に向けた詳細設計を実施しました。		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標である、「詳細設計実施」について、当初の予定どおり実施することができたことから、B評価としました。	事業コード4206-1に計上

4206-3	日進駅周辺地区まちづくり推進事業(南北狭隘道路整備)	
所管課	都市局 日進・指扇周辺まちづくり事務所	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
南北狭隘道路の整備	整備方針検討	整備方針検討
平成26年度取組内容		
日進北小学校への通学路の確保、消防活動困難地区解消、狭隘道路対策等を地元と協働にて取り組むため、ワークショップを9回開催するとともに、整備方向性に関するアンケート等を実施し、整備方針を検討しました。		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標である、「整備方針検討」について、ワークショップ等の取組により整備方針案を絞りこむことができたことから、B評価としました。	事業コード4206-1に計上

4207-1	浦和美園駅周辺地区まちづくり推進事業(浦和東部第一特定土地区画整理事業)	
所管課	都市局 浦和東部まちづくり事務所	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
浦和東部第一特定土地区画整理事業進捗率	66.7%	64.7%
平成26年度取組内容		
土地区画整理事業の施行に必要な建物や立竹木の移転に対し補償を実施するとともに、盛土や道路、擁壁の測量、設計業務を行い、築造工事などを実施しました。		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標である、事業進捗率について、概ね当初の計画どおり実施することができたことから、B評価としました。	1,308,975,000 円 ----- 861,975,141 円

4207-2	浦和美園駅周辺地区まちづくり推進事業(浦和東部第二特定土地区画整理事業)	
所管課	都市局 浦和東部まちづくり事務所	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
浦和東部第二特定土地区画整理事業進捗率	94.2%	91.1%
平成26年度取組内容		
施行者である独立行政法人都市再生機構に対し、事業支援のための補助金及び土地区画整理法に基づく負担金を交付し、事業促進を図りました。		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標である、事業進捗率について、概ね当初の計画どおり実施することができたことから、B評価としました。	2,403,750,000 円 ----- 1,769,250,000 円



4207-3	浦和美園駅周辺地区まちづくり推進事業(岩槻南部新和西特定土地区画整理事業)	
所管課	都市局 浦和東部まちづくり事務所	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
岩槻南部新和西特定土地区画整理事業進捗率	100%	91.8%
平成26年度取組内容		
<p>施行者である独立行政法人都市再生機構に対し、事業支援のための補助金及び土地区画整理法に基づく負担金を交付し、事業促進を図りました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標である、事業進捗率について、概ね当初の計画どおり実施することができたことから、B評価としました。	1,806,000,000 円 ----- 1,055,850,000 円

4207-4	浦和美園駅周辺地区まちづくり推進事業(大門下野田特定土地区画整理事業)	
所管課	都市局 浦和東部まちづくり事務所	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
大門下野田特定土地区画整理事業進捗率	2.4%	2.4%
平成26年度取組内容		
<p>土地区画整理事業の推進のため、仮換地指定などの業務委託を実施するほか、調節池負担金を支出しました。また、審議会を設置・開催しました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標である、事業進捗率について、目標どおり事業を進めることができたことから、B評価としました。	41,000,000 円 ----- 40,402,108 円

4207-5	浦和美園駅周辺地区まちづくり推進事業((仮称)アーバンデザインセンターみその)	
所管課	都市局 浦和東部まちづくり事務所	倍增プラン60-1
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
(仮称)アーバンデザインセンターみその	機能決定	主な機能や施設設置の方針等をまとめた基本構想を作成しました。
平成26年度取組内容		
(仮称)アーバンデザインセンターみそのの産学官の連携方法、活動内容、管理運営体制などの機能決定、建設予定地の検討を行いました。		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標である、(仮称)アーバンデザインセンターみそのの機能決定について、目標どおり事業を進めることができたことから、B評価としました。	0円 ----- 0円

4207-6	浦和美園駅周辺地区まちづくり推進事業((仮称)アーバンデザインセンターみその)	
所管課	環境局 環境未来都市推進課	倍增プラン60-1
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
(仮称)アーバンデザインセンターみその	27年度設立に向けての基本構想の策定(エネルギーマネジメントシステム及びサービスの選択)	(仮称)アーバンデザインセンターみそのの基本構想を策定しました
平成26年度取組内容		
(仮称)アーバンデザインセンターみそのの主な機能や施設設置の方針等をまとめた基本構想を策定しました。		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標である、(仮称)アーバンデザインセンターみそのの主な機能や施設設置の方針等をまとめた基本構想を目標どおり策定したことから、B評価としました。	事業コード1106-2に計上

4207-7	浦和美園駅周辺地区まちづくり推進事業	
所管課	都市戦略本部 東部地域・鉄道戦略部	倍增プラン60-1
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
(仮称)アーバンデザインセンターみその	地域の情報発信	「浦和美園インフォメーションセンター」において地域の情報発信を行いました。
平成26年度取組内容		
<p>浦和美園駅に設置している「浦和美園インフォメーションセンター」において、まちづくりや観光・地域資源などの情報発信を行いました。</p> <p>なお、当インフォメーションセンターは(仮称)アーバンデザインセンターの機能の一部として位置付けられており、庁内関係部局と統合に向けた調整を行いました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の目標である、「浦和美園インフォメーションセンター」における地域の情報発信について、当初の予定どおり実施できたことから、B評価としました。	10,902,000 円 ----- 9,985,819 円

4208-1	岩槻駅周辺地区まちづくり推進事業(岩槻駅西口土地区画整理事業)	
所管課	都市局 岩槻まちづくり事務所	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
岩槻駅西口土地区画整理事業進捗率	74.1%	72.4%
平成26年度取組内容		
<p>移転に要する建物の物件調査及び移転補償、街路築造・側溝整備・整地工事等を行いました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の目標である、事業進捗率について、概ね目標どおり事業を進めることができたことから、B評価としました。	662,127,000 円 ----- 532,843,561 円

4208-2	岩槻駅周辺地区まちづくり推進事業(江川土地区画整理事業)	
所管課	都市局 岩槻まちづくり事務所	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
江川土地区画整理事業進捗率	94.4%	94.3%
平成26年度取組内容		
道路設計及び測量等を実施するとともに、街路築造・道路修繕・調整池排水機場工事等を行いました。		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の目標である、事業進捗率について、目標どおり事業を進めることができたことから、B評価としました。	204,858,000 円
		187,194,954 円

4208-3	岩槻駅周辺地区まちづくり推進事業(アクションプラン)	
所管課	都市局 まちづくり総務課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
アクションプランに位置付けた事業	進行管理、事業の推進	進行管理、事業の推進
平成26年度取組内容		
岩槻まちづくりアクションプラン(第1期)に位置付けられている「岩槻歴史街道の実現」に向け、沿道住民を対象としたアンケート(1回)やワークショップ(5回)等を実施し、将来のまちなみイメージを作成しました。		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の目標である「進行管理、事業の推進」について、当初の計画通りに実施され、事業は順調に進捗したことから、B評価としました。	16,202,000 円
		11,836,801 円

4208-4	岩槻駅周辺地区まちづくり推進事業(旧岩槻区役所敷地利用計画)	
所管課	都市局 まちづくり総務課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
旧岩槻区役所敷地の利用計画の策定	策定	未策定
平成26年度取組内容		
<p>旧岩槻区役所敷地利用計画の策定に向け、旧岩槻区役所敷地利用計画検討委員会を開催(3回)して委員会での意見を聴取し、旧岩槻区役所敷地利用計画(案)を作成しました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
C	平成26年度の目標である「旧岩槻区役所敷地利用計画の策定」について、敷地利用計画の策定に向けた庁内関係部局との調整に時間を要し、目標を達成できなかったことから、C評価としました。	事業コード4208-3に計上

4301-1	地下鉄7号線延伸促進事業(採算性)	
所管課	都市戦略本部 東部地域・鉄道戦略部	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
採算性 (累積資金収支黒字転換年)	調査実施	予定通り採算性の再算定、及び移動実態の調査を行いました。
平成26年度取組内容		
埼玉県と共同で、地下鉄7号線の延伸に向けた調査を行うとともに、延伸計画の需要予測等に反映するため、浦和美園～岩槻地域におけるイベント開催時の移動実態を詳細に把握するための調査を行いました。		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の目標である調査実施について、目標どおり調査を進めることができたことから、B評価としました。	27,108,000 円 ----- 25,569,338 円

4301-2	地下鉄7号線延伸促進事業(B/C)	
所管課	都市戦略本部 東部地域・鉄道戦略部	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
B/C (費用便益比)	調査実施	予定通りB/Cの再算定、及び移動実態の調査を行いました。
平成26年度取組内容		
埼玉県と共同で、地下鉄7号線の延伸に向けた調査を行うとともに、延伸計画の需要予測等に反映するため、浦和美園～岩槻地域におけるイベント開催時の移動実態を詳細に把握するための調査を行いました。		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の目標である調査実施について、目標どおり調査を進めることができたことから、B評価としました。	事業コード4301-1に計上

4302-1	バス対策事業(コミュニティバス)	
所管課	都市局 交通政策課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
コミュニティバス等利用者数	312,200人／年度	313,432人／年度
平成26年度取組内容		
<p>コミュニティバス及び乗合タクシーの運行に対する経費の一部を補助するとともに、バス路線マップやコミュニティバスリーフレット等、バス等の利用促進に係る広報物を作成しました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の目標である、コミュニティバス等利用者数について、当初の目標を達成することができたことから、B評価としました。	212,304,000 円 ----- 165,905,610 円

4302-2	バス対策事業(ノンステップバス)	
所管課	都市局 交通政策課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
ノンステップバスの導入率	52.0%	51.9%
平成26年度取組内容		
<p>市民に身近な公共交通網の整備を進めるため、ノンステップバスの導入にかかる費用の一部をバス事業者に補助し、路線バスの利用促進を図りました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の目標である、ノンステップバスの導入率について、当初の目標を概ね達成できたことから、B評価としました。	事業コード4302-1に計上

4302-3	バス対策事業(持続可能な地域公共交通)	
所管課	都市局 交通政策課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
持続可能な地域公共交通の充実	「地域公共交通会議」における、持続可能な地域公共交通の導入・改善の検討	「地域公共交通会議」における、持続可能な地域公共交通の改善を実施しました。
平成26年度取組内容		
交通空白地区や交通不便地区等の交通利便性の向上を図るため、「コミュニティバス等導入ガイドライン」に基づき、外部の有識者や市民などを委員とする「地域公共交通会議」の中で、持続可能な地域公共交通の導入・改善について検討を行い、西区コミュニティバス、西区指扇地区乗合タクシー及び岩槻区和土地区乗合タクシーについて運行改善を実施しました。		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の目標である、「地域公共交通会議」における、持続可能な地域公共交通の導入・改善の検討について、検討を行い、改善を実施したことから、B評価としました。	事業コード4302-1に計上

4303-1	駅舎橋上化等整備事業(指扇駅舎橋上化)	
所管課	都市局 日進・指扇周辺まちづくり事務所	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
指扇駅舎の橋上化	完了	完了
平成26年度取組内容		
平成26年度の指扇駅橋上化完成に向けて、工事、測量等を行いました。		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の目標である指扇駅舎の橋上化について、当初の目標どおり工事が完了したことから、B評価としました。	332,549,000 円 ----- 477,647,096 円



4303-2	駅舎橋上化等整備事業(指扇駅北口駅前広場整備)	
所管課	都市局 日進・指扇周辺まちづくり事務所	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
指扇駅北口駅前広場の整備	完了	工事中
平成26年度取組内容		
指扇駅橋上化完成に伴い、北口駅前広場工事を行いました。		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
C	平成26年度の目標である指扇駅北口駅前広場の整備について、駅前広場工事を完了することができなかったことから、C評価としました。	事業コード4303-1に計上

4303-3	駅舎橋上化等整備事業(岩槻駅舎橋上化)	
所管課	都市局 岩槻まちづくり事務所	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
岩槻駅舎の橋上化	33.4%	30.0%
平成26年度取組内容		
岩槻駅舎の橋上化及び駅東西を結ぶ自由通路の整備を行いました。		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の目標である岩槻駅舎の橋上化進捗率について、当初の目標を概ね達成したことから、B評価としました。	2,235,000,000 円
		822,690,000 円

4304	長距離バスターミナル整備推進事業	
所管課	都市局 交通政策課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
長距離バスターミナルの設置	①ターミナルの必要性の整理及びバス需要の検討調査着手 ②基本構想(案)の作成	長距離バスターミナルの検討調査に着手するとともに、基本構想(案)を作成しました。
平成26年度取組内容		
大宮駅周辺・さいたま新都心駅周辺地区における現況整理及び先行事例の調査等を踏まえ、バスターミナルの必要性やバス需要等の検討を行い、候補地の選定や施設規模等を取りまとめた基本構想(案)を作成しました。		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の目標である、長距離バスターミナルの検討調査着手、基本構想(案)の作成について、目標どおり事業を進めることができたことから、B評価としました。	8,694,000 円 ----- 6,480,000 円

4305-1	交通バリアフリー推進事業(鉄道駅エレベーター整備)	
所管課	都市局 交通政策課	倍增プラン54
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
鉄道駅のエレベーター整備率	93.9%(31駅／33駅)	84.8%(28駅／33駅)
平成26年度取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> <li>交通結節点としての鉄道駅での安全性及び利便性を高めるため、吉野原駅エレベーターの基本設計を行いました。また、東大宮駅東口改札外エレベーターについて、平成26年9月末より供用を開始しました。</li> <li>今羽駅及び東宮原駅改札内エレベーターについて、建設コストの高騰による予算の補正が生じたことから着手時期が遅れ、年度内の事業完了に至りませんでした。</li> <li>南浦和駅西口改札外エレベーターについて、平成27年2月13日にJR東日本と施工協定を締結しました。</li> <li>さいたま市交通バリアフリー化設備補助金交付要綱に基づき、鉄道事業者によって市内各駅に整備されるバリアフリー設備について補助金を交付しました。</li> </ul>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の目標である、エレベーター整備率93.9%について、概ね当初の目標どおり事業を実施することができたことから、B評価としました。	583,200,000 円 ----- 325,077,193 円

4305-2	交通バリアフリー推進事業(バリアフリー基本構想)	
所管課	都市局 交通政策課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
「バリアフリー基本構想」における各特定事業	①バリアフリー基本構想に基づく進行管理 ②まちあるき勉強会の実施	「バリアフリー基本構想」に基づく進行管理及び浦和地区を対象にまちあるき勉強会を実施しました。
平成26年度取組内容		
<p>・「バリアフリー基本構想」に位置づけられた重点整備地区(大宮地区、北浦和地区、浦和地区、さいたま新都心・北与野地区、武蔵浦和地区、岩槻地区)について、特定事業計画に基づき各バリアフリー事業の進行管理を実施しました。</p> <p>・鉄道高架事業及び関連事業が進捗している浦和地区について、利用者とともにまちあるき勉強会を実施しました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の目標である、「バリアフリー基本構想」に基づく進行管理、まちあるき勉強会の実施について、目標どおり事業を進めることができたことから、B評価としました。	事業コード4305-1に計上

4306	道路及び街路整備事業	
所管課	建設局 道路計画課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
都市計画道路整備率	48.2%	49.9%
平成26年度取組内容		
<p>国県道及び基幹的市道からなる幹線道路網を整備するため、国道122号蓮田岩槻バイパス等の国県道及び基幹的市道の新設・拡幅改良を行うとともに、市内の交通渋滞の緩和や快適な市民生活と円滑な都市活動を確保し、物流の効率化や市街地の活性化を図るため、道場三室線等の都市計画道路の整備を行いました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の数値目標である、都市計画道路整備率について、目標どおり事業を進めることができたことから、B評価としました。	13,590,679,000 円 ----- 7,388,045,650 円

4307-1	都市計画道路見直し事業(廃止候補路線)	
所管課	都市局 都市計画課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
廃止候補路線の見直し着手	13路線(6路線増)	13路線(6路線増)
平成26年度取組内容		
<p>道路網形成プログラムに基づき、廃止候補路線のうち6路線について、関係権利者の合意形成を図りながら、3路線については手続きを完了し、残り3路線についても都市計画の手続きを進めました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の目標である6路線について、当初の目標どおり事業を実施することができたことから、B評価としました。	18,200,000 円
		16,876,040 円

4307-2	都市計画道路見直し事業(道路網計画)	
所管課	都市局 都市計画課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
「道路網計画」の見直し	—	—
平成26年度取組内容		
—		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
—	—	0 円
		0 円

4308-1	道路環境整備事業(ロードサポート)	
所管課	建設局 道路環境課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
ロードサポート登録団体数	77団体(3団体増)	99団体(25団体増)
平成26年度取組内容		
<p>市が管理する道路において、ボランティアで清掃美化活動を行う住民団体等を募集し、住民と行政が協力して快適で美しい道路環境づくりを推進する「さいたまロードサポート制度」の周知・啓発を図り、登録団体数の増加につなげました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
A	平成26年度の目標である77団体(3団体増)に対し、99団体(25団体増)となったことから、A評価としました。	事業コード4308-7に計上

4308-2	道路環境整備事業(歩道整備)	
所管課	建設局 道路環境課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
歩道整備	<b>推進</b> ・用地取得:一般県道蒲生岩槻線、主要地方道さいたま鴻巣線 外 ・工事:一般国道463号、市道E-165号線 外	<b>推進</b> ・用地取得:一般県道蒲生岩槻、一般国道122号 外 ・工事:一般国道463号、市道E-165号線 外
平成26年度取組内容		
<p>歩道のない区間への新たな歩道設置や「さいたま市バリアフリー基本構想」における重点整備地区内で歩行空間の整備を行いました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
C	工事については、関係機関との協議に時間を要したことから次年度へ繰り越した路線があるものの、計画に沿って推進することができました。しかし、用地取得及び物件補償については、権利者との交渉が難航し、契約合意に達しない案件が発生したことから、C評価としました。	3,001,724,000 円 ----- 1,403,315,958 円

4308-3	道路環境整備事業(電線共同溝)	
所管課	建設局 道路環境課	倍增プラン52
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
電線共同溝の延長	0.5km	0km
平成26年度取組内容		
<p>・限られた財源の中で事業を実施するために国の交付金を活用していますが、平成26年度は道路事業全体として4割の削減となりました。このため、平成26年度は歩道整備を優先的に実施する必要があったことから、電線共同溝の整備を見送りました。</p> <p>・また、整備予定の一般県道大間木蕨線においては、整備による効果や今後の方針などについて、平成26年8月に地元説明会を実施しました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
C	平成26年度の数値目標である、電線共同溝整備0.5kmについて、事業に対する理解をいただく地元説明会を実施しましたが、国からの交付金の削減に伴い整備を見送ったことから、C評価としました。	145,352,000 円 ----- 21,178,743 円

4308-4	道路環境整備事業(踏切改良)	
所管課	建設局 道路環境課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
踏切改良箇所数	16か所(1か所増)	15か所(増減なし)
平成26年度取組内容		
<p>狭あいな踏切について歩行空間を確保するため、野田線第29号踏切(見沼区)の拡幅整備に向けた協議・調整を実施しました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
C	平成26年度の数値目標である1か所増について、関係地権者との境界確認に時間を要し、野田線第29号踏切(見沼区)の拡幅整備に着手できなかったことから、C評価としました。	70,000,000 円 ----- 53,350,351 円

4308-5	道路環境整備事業(ゾーン30)	
所管課	建設局 道路環境課	倍增プラン44-1
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
ゾーン30整備地区数	17地区(7地区増)	17地区(7地区増)
平成26年度取組内容		
<p>市内7地区において、交通管理者との現地の立会いのうえ、ゾーン30の整備を行いました。  (三橋6丁目地区/吉野町2丁目地区/大成町1・2・3丁目地区/塚本地区/常盤6・7・8丁目、仲町4丁目地区/沼影1・2丁目、曲本5丁目地区/東浦和7丁目地区)</p>		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
B	平成26年度の数値目標である、ゾーン30の7地区整備について、目標どおり事業を進めることができたことから、B評価としました。	113,000,000 円 ----- 84,304,800 円

4308-6	道路環境整備事業(事故危険箇所の緊急対策)	
所管課	建設局 道路環境課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
事故危険箇所の緊急対策箇所数	12か所	20か所
平成26年度取組内容		
<p>事故危険箇所において、交差点改良などの道路整備や信号機設置などの交通安全対策を進めました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
A	平成26年度の目標である12か所に対して、20か所の事故危険箇所対策を実施し、目標を上回って達成できたことから、A評価としました。	事業コード4308-2に計上

4308-7	道路環境整備事業(道路修繕)	
所管課	建設局 道路環境課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
—	—	—
平成26年度取組内容		
道路パトロールや市民からの通報等に基づき、舗装や道路附属物などの損傷箇所を修繕しました。		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
—	—	2,836,466,000 円
		3,017,975,425 円

4309-1	総合交通体系の確立(都市交通戦略)	
所管課	都市局 交通政策課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
「都市交通戦略」における各種施策	①進捗管理の実施 ②施策の推進	「都市交通戦略」に基づく進捗管理及び各種交通施策の推進を行いました。
平成26年度取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「さいたま市都市交通戦略」に位置付けられた各施策の進捗管理を行いました。</li> <li>・子どもたちが、将来的に交通手段をかしこく選択できるようになることを目指したモビリティマネジメントを三橋小学校で実施しました。</li> <li>・総合的な交通計画の検討のため、東京都市圏交通計画協議会に参加し、物流の実態調査を行いました。</li> <li>・「東西交通大宮ルート」について、次期答申に向けた調査・検討を行いました。</li> </ul>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の目標である、「都市交通戦略」における進捗管理の実施及び各種交通施策の推進について、目標どおり事業を進めることができたことから、B評価としました。	50,015,000 円
		44,755,200 円



4309-2	総合交通体系の確立(さいたま市総合都市交通体系マスタープラン基本計画)	
所管課	都市局 交通政策課	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
「さいたま市総合都市交通体系マスタープラン基本計画」の見直し	—	—
平成26年度取組内容		
—		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
—	—	0円
		0円

4310-1	浦和美園～岩槻地域成長・発展事業(浦和美園駅周辺)	
所管課	都市戦略本部 東部地域・鉄道戦略部	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
浦和美園駅周辺の定住人口	5,100人	5,566人
平成26年度取組内容		
<p>浦和美園～岩槻地域に関する成長・発展を図るため、「浦和美園～岩槻地域成長・発展プラン」に基づき、各種方策(地域の情報発信、ブランド化や魅力発信に関するイベント支援、まちづくり勉強会の開催、ウェブサイトやリーフレット等の作成・更新、浦和美園～岩槻駅間を結ぶ快速バスの運行など)を展開し、地域の魅力を高め、浦和美園駅周辺の定住人口の創出を図りました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額/決算額
A	平成26年度の目標である、浦和美園駅周辺の定住人口5,100人について、目標を上回る5,566人になったことから、A評価としました。	60,468,000円
		56,861,870円

4310-2	浦和美園～岩槻地域成長・発展事業(岩槻駅周辺)	
所管課	都市戦略本部 東部地域・鉄道戦略部	
目標指標	計画目標(平成26年度末)	実績(平成26年度末)
岩槻駅周辺の交流人口	466,000人／年度	504,000人／年度
平成26年度取組内容		
<p>浦和美園～岩槻地域に関する成長・発展を図るため、「浦和美園～岩槻地域成長・発展プラン」に基づき、各種方策(地域の情報発信、ブランド化や魅力発信に関するイベント支援、まちづくり勉強会の開催、ウェブサイトやリーフレット等の作成・更新、浦和美園～岩槻駅間を結ぶ快速バスの運行など)を展開し、地域の魅力を高め、岩槻駅周辺の交流人口の創出を図りました。</p>		
評価	評価理由	当初予算額／決算額
B	平成26年度の目標である岩槻駅周辺の交流人口466,000人について、おおむね達成したことから、B評価としました。	事業コード4310-1に計上